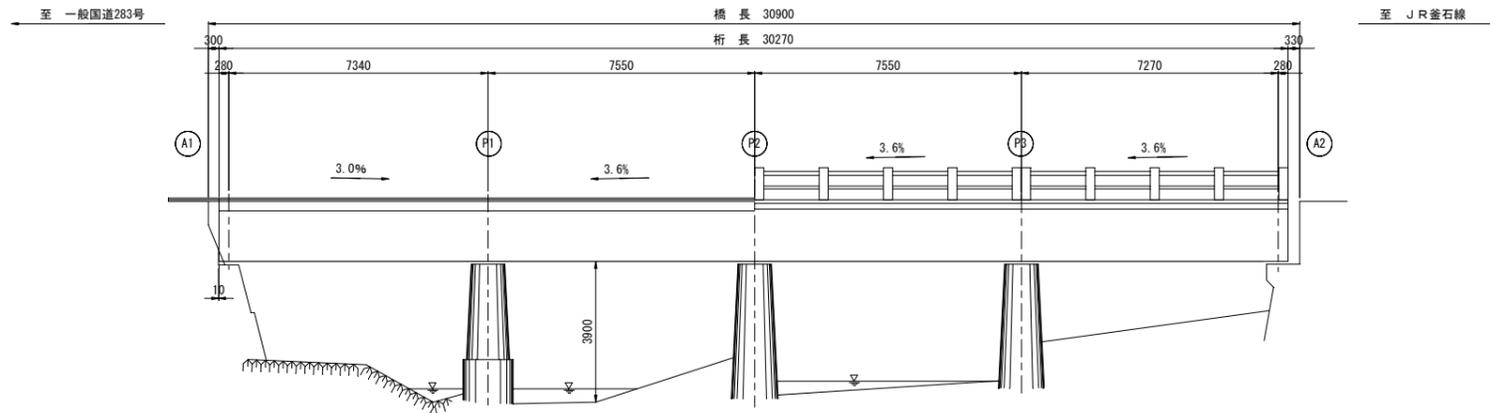
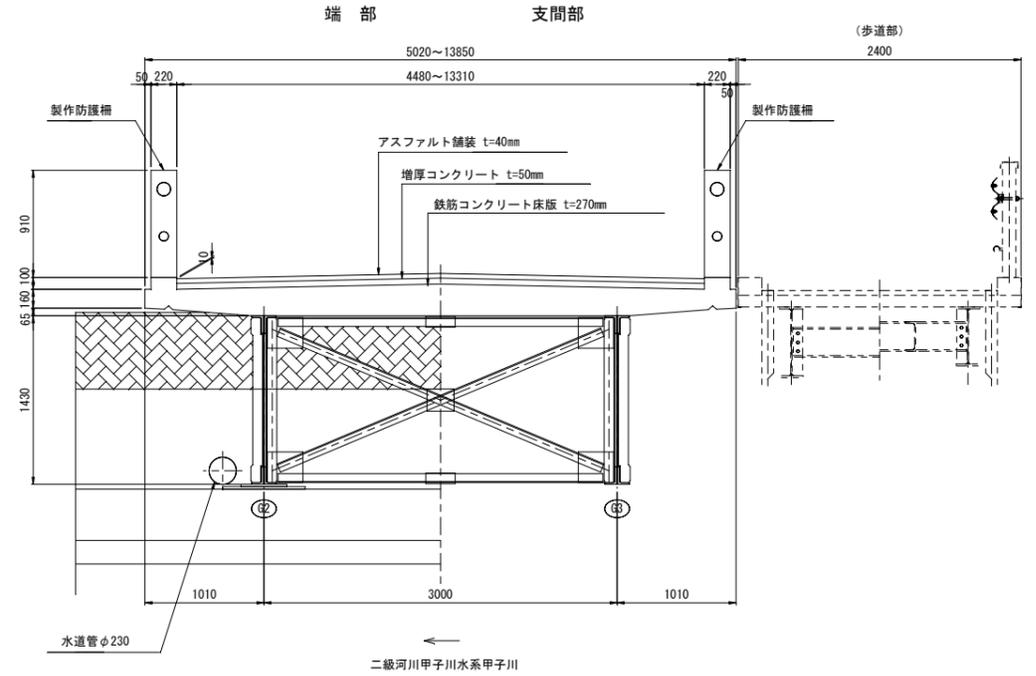


# 五葉橋（車道部） 現橋一般図

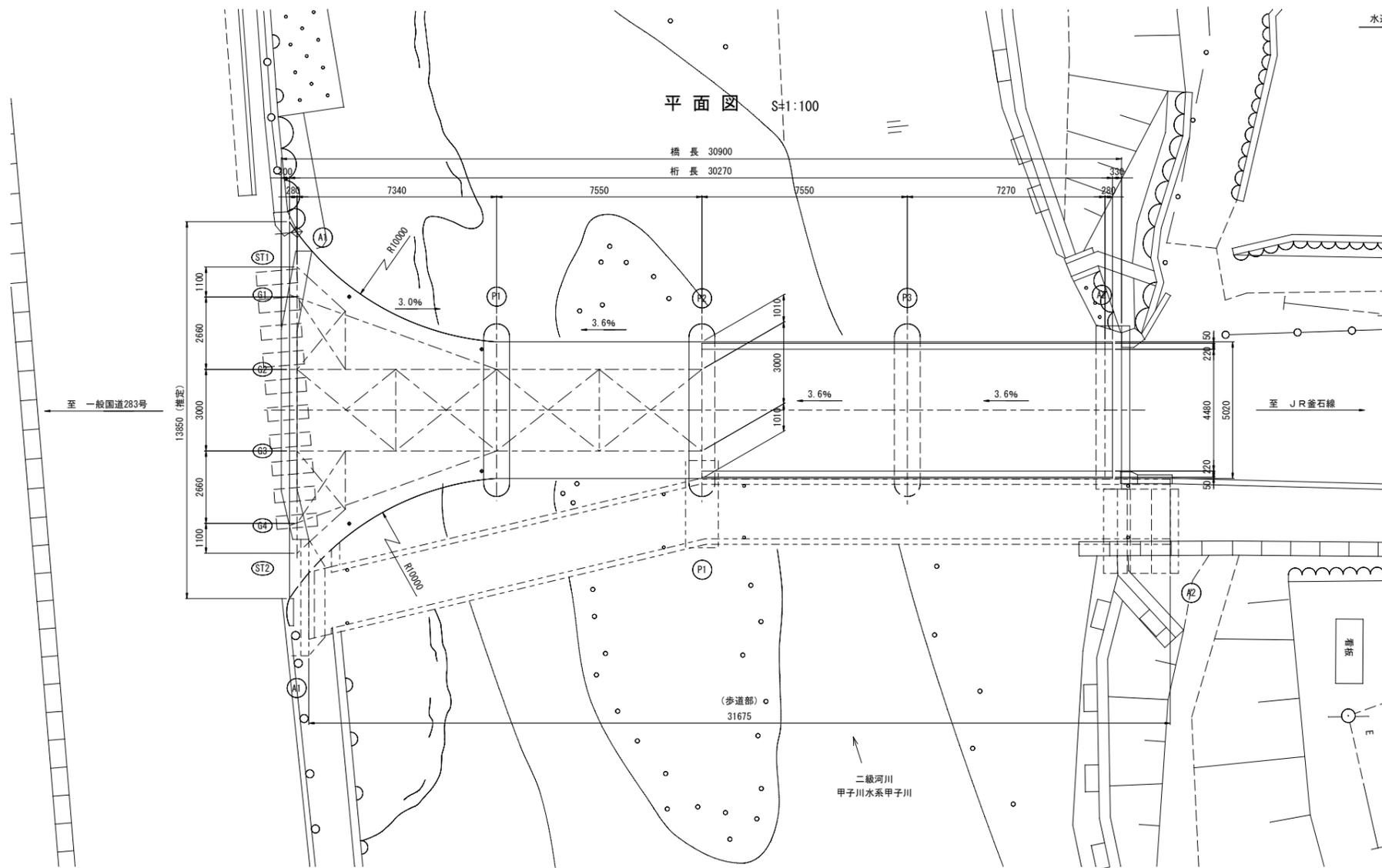
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



現橋諸元

型式	4径間連続鋼桁橋
橋格	不明
竣工	昭和29年(1954年)
荷重	不明
橋長	30.900m
桁長	30.270m
支間	7.340m + 7.550m + 7.550m + 7.270m
幅員	5.020m~13.850m (有効幅員 4.480m~13.310m)
斜角	90°
適用	昭和14年2月(1939)
示方書	鋼道路橋設計示方書案(内務省土木局)(推定)

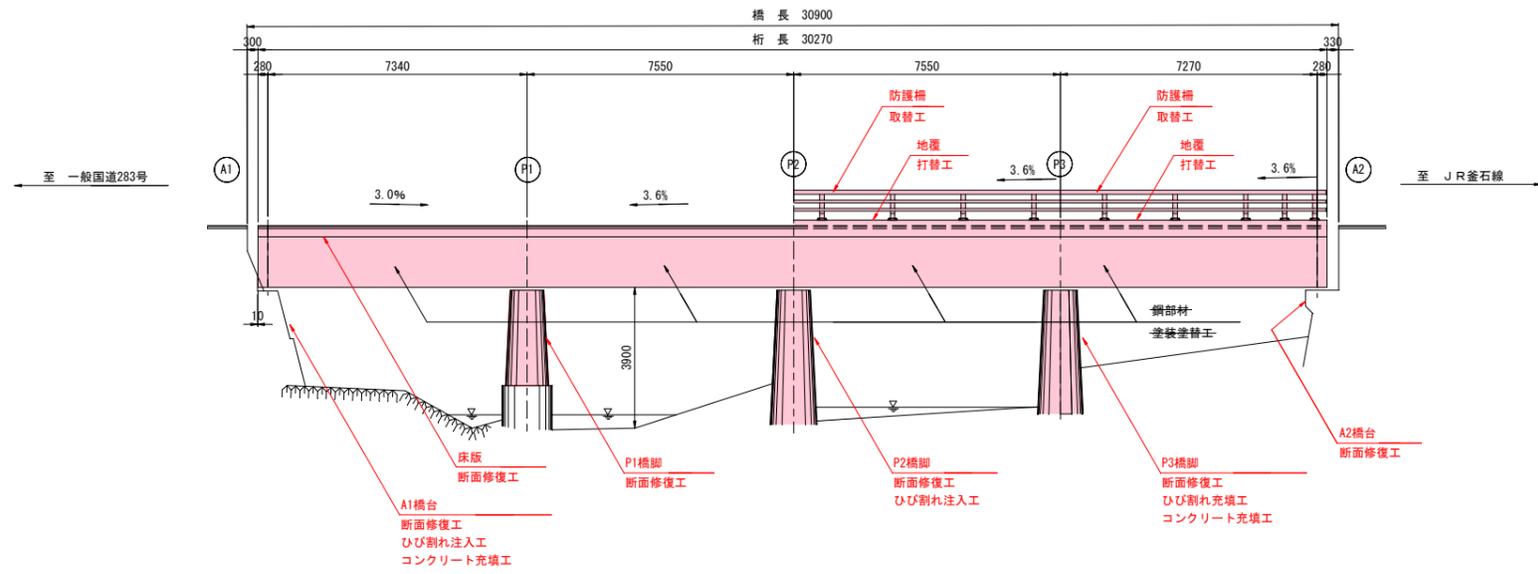
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 1	五葉橋(車道部) 現橋一般図
令和 5 年度	
大松1号線(五葉橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

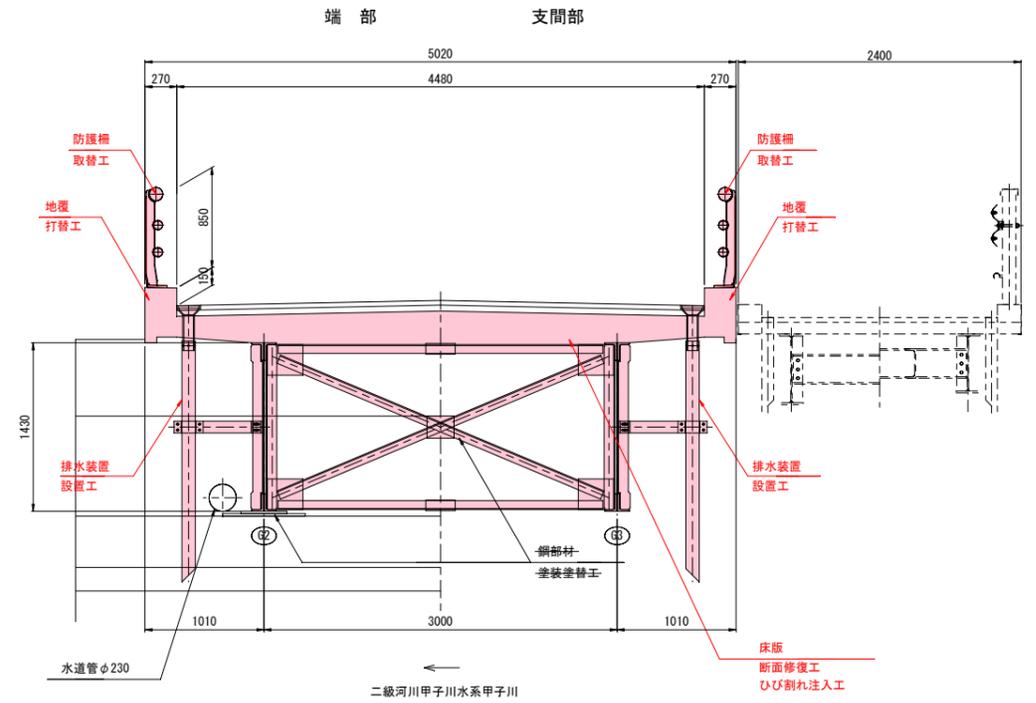
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部） 補修一般図

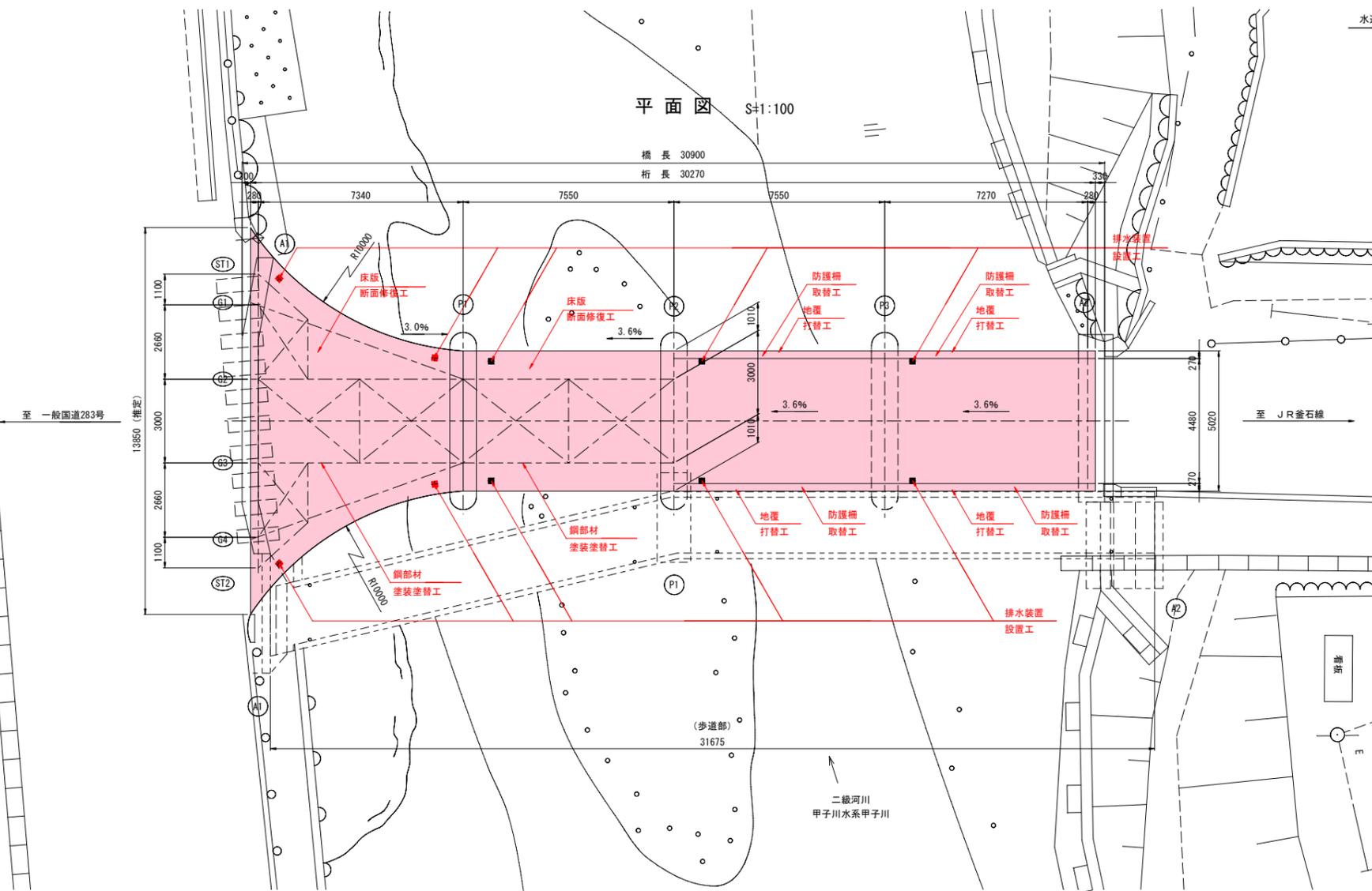
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



補修一覧表

部材名	補修工法	備考
上部工	床版 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	床版 ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
	鋼部材 塗装塗替工	Ro-1塗装系
下部工	A1橋台 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	A1橋台 ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
	A1橋台 コンクリート充填工	コンクリート
	P1橋脚 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	P2橋脚 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	P2橋脚 ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
橋面工	P3橋脚 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	P3橋脚 ひび割れ充填工	エポキシ樹脂
	P3橋脚 コンクリート充填工	コンクリート
	A2橋台 断面修復工	ポリマーセメントモルタル
排水装置 設置工	排水溝、VP100	
地覆 打替工	コンクリート	
防護柵 取替工	橋梁用防護柵 C種	

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 2	五葉橋（車道部） 補修一般図
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

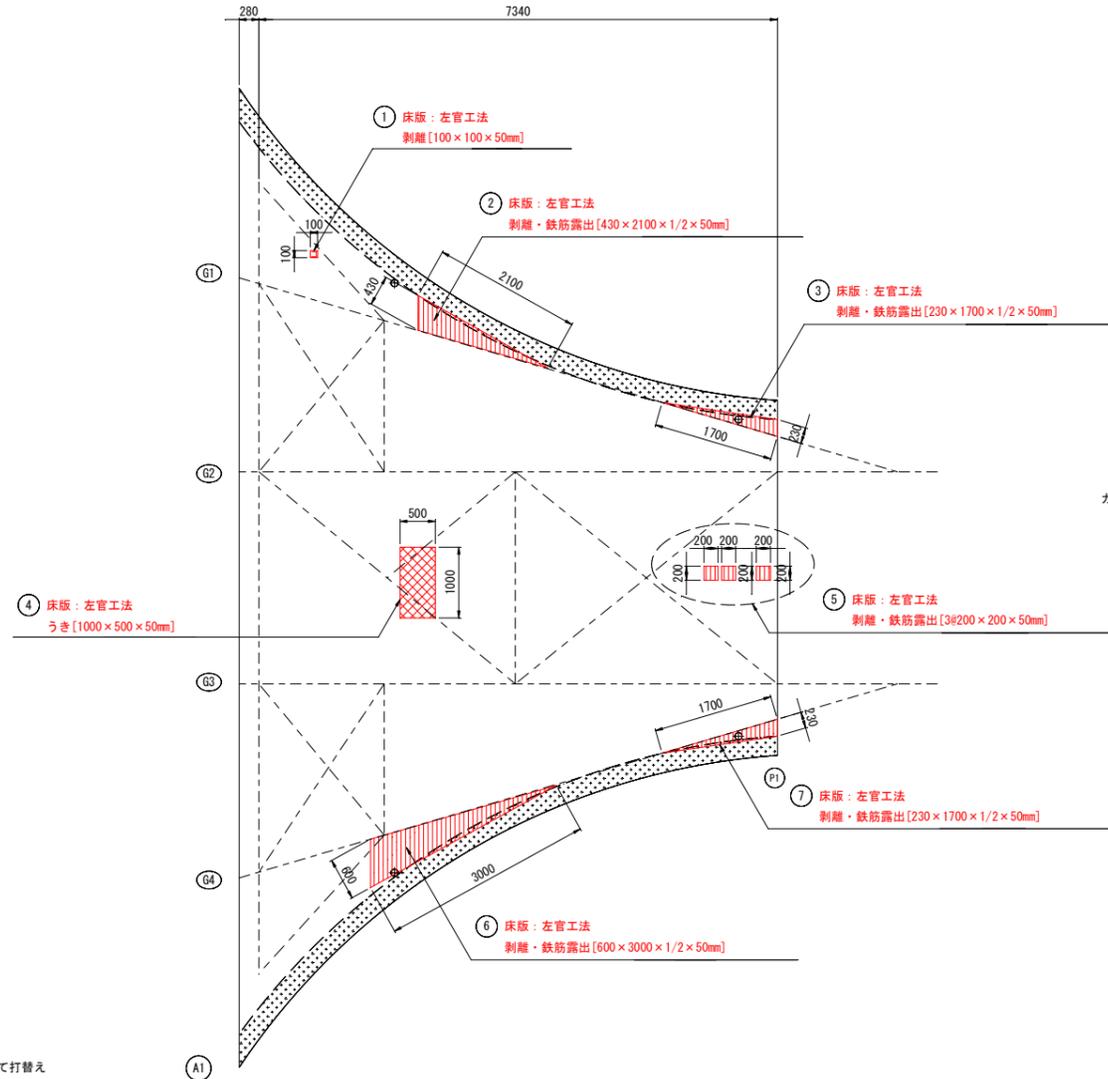
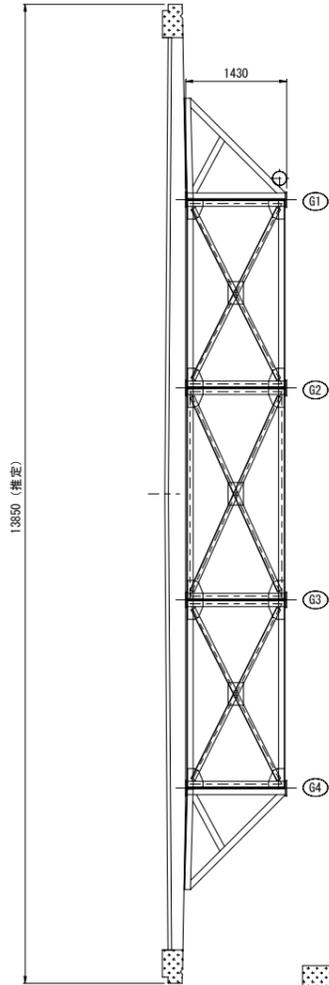
# 五葉橋（車道部） 床版補修図（その1）

S=1:50

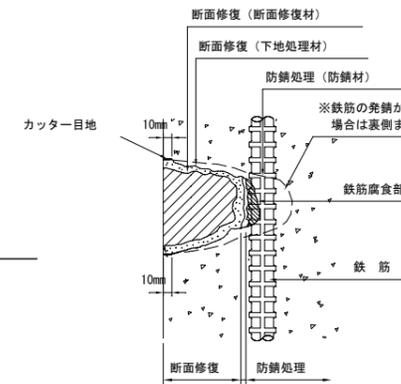
（第1径間 桁下面）

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剝離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例  
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

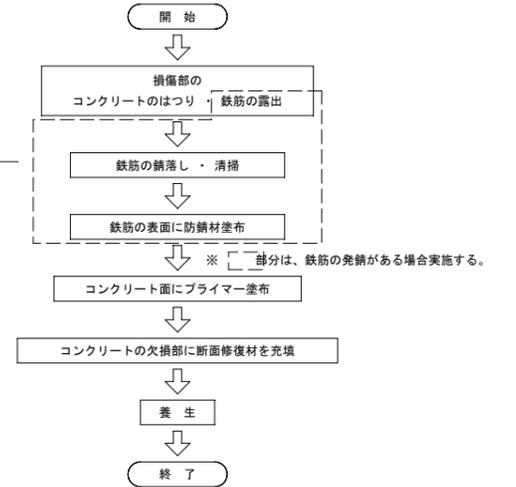


## 断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※はつり厚は現地計測結果より算出している。（50mm程度とする）

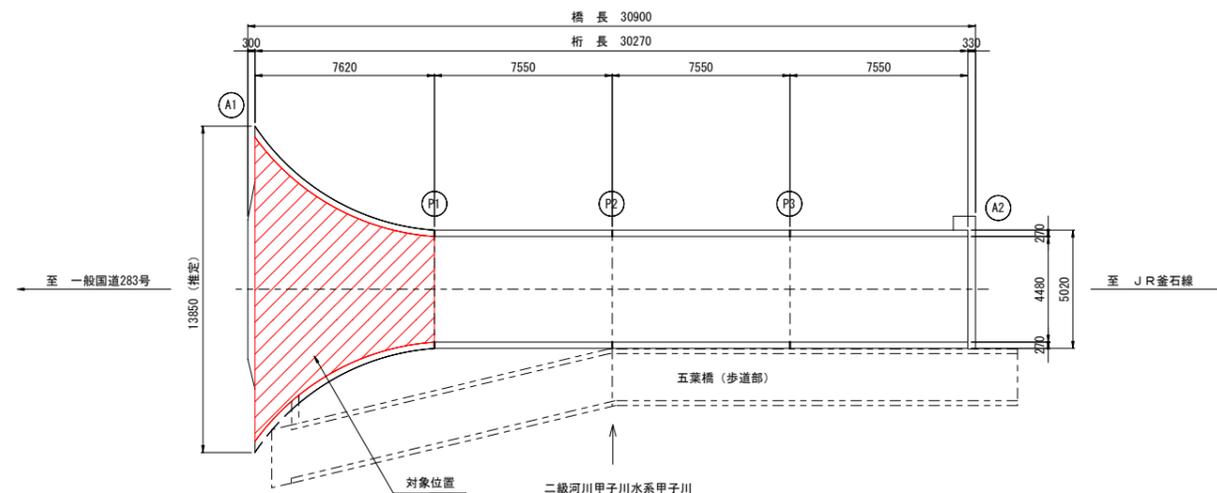
## 断面修復の施工フロー



## 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

## 位置図 S=1:150



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 3	五葉橋（車道部） 床版補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部）床版補修図（その2）

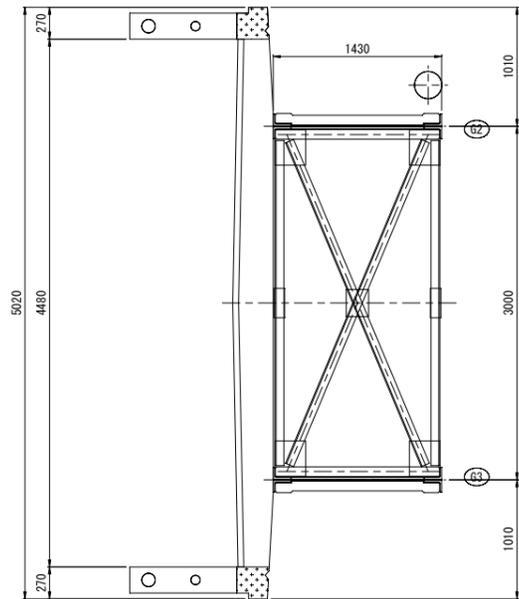
S=1:30

（第2径間 桁下面）

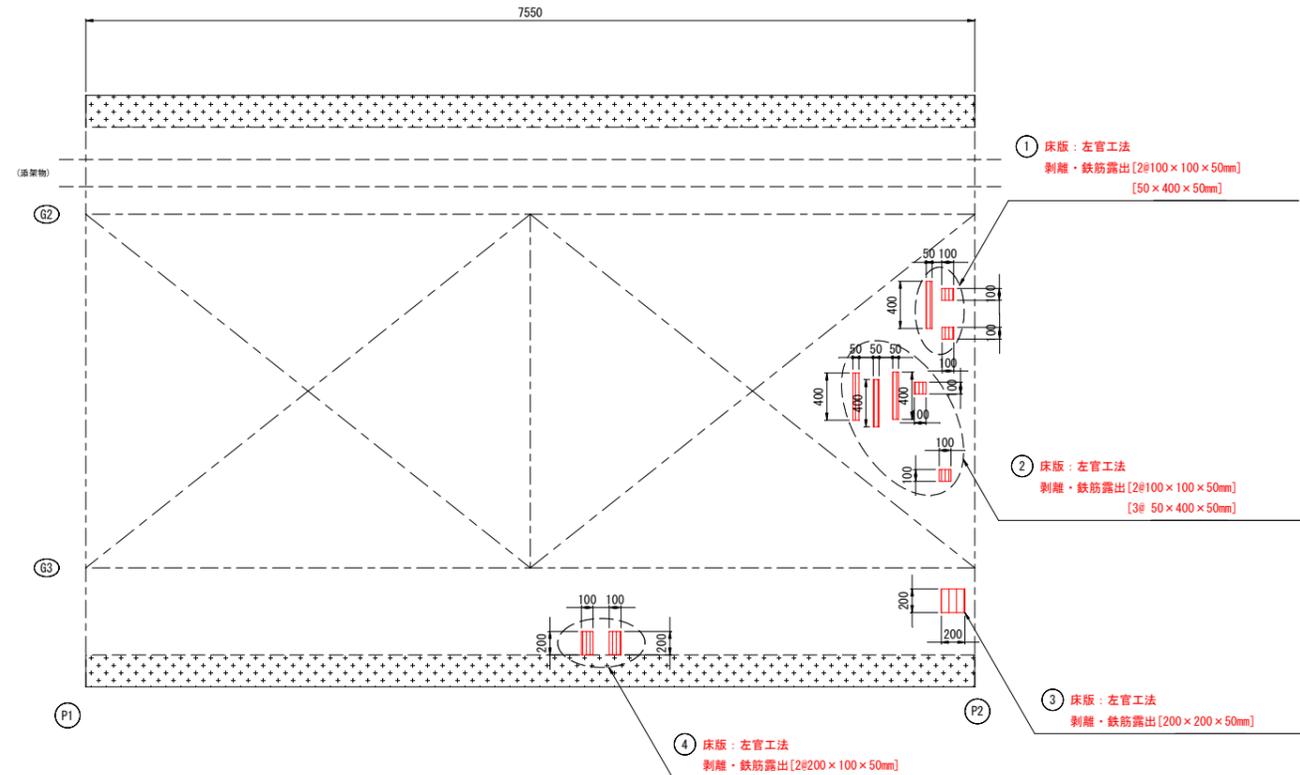
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例

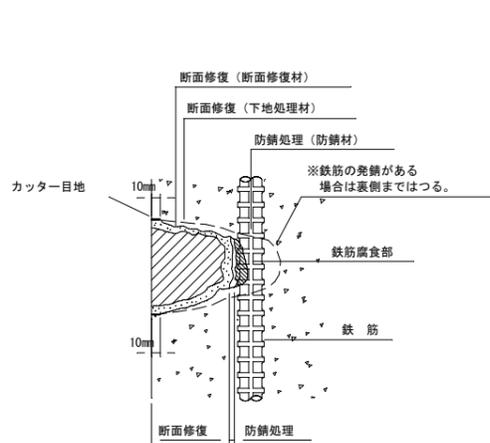
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]



: 地覆補修工にて打替え

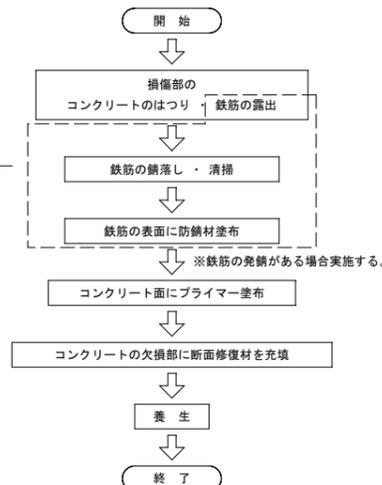


## 断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※はつり厚は現地計測結果より算出している。（50mm程度とする）

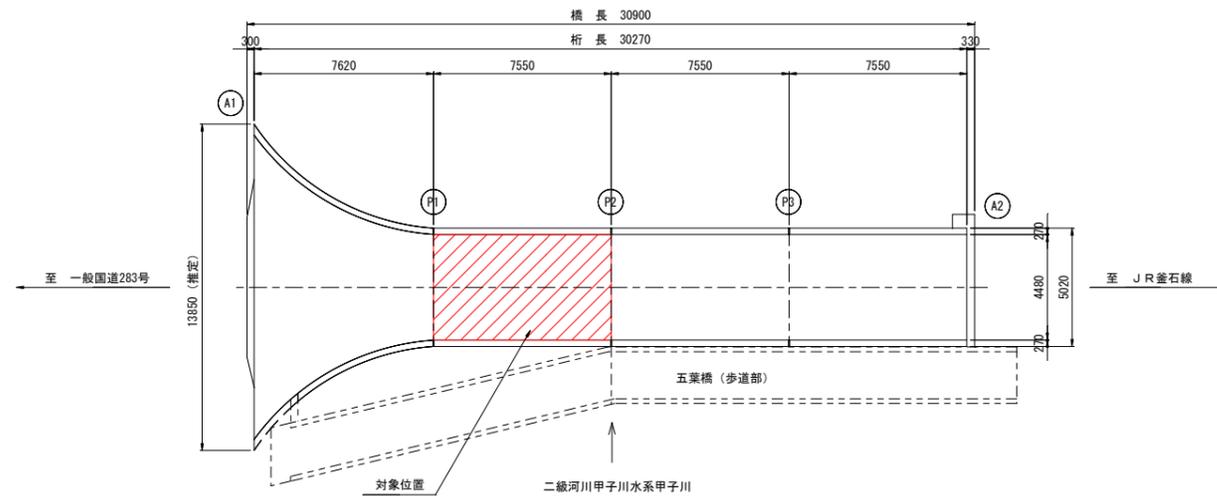
### 断面修復の施工フロー



### 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

## 位置図 S=1:150



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 4	五葉橋（車道部） 床版補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。



# 五葉橋（車道部）床版補修図（その4）

S=1:30

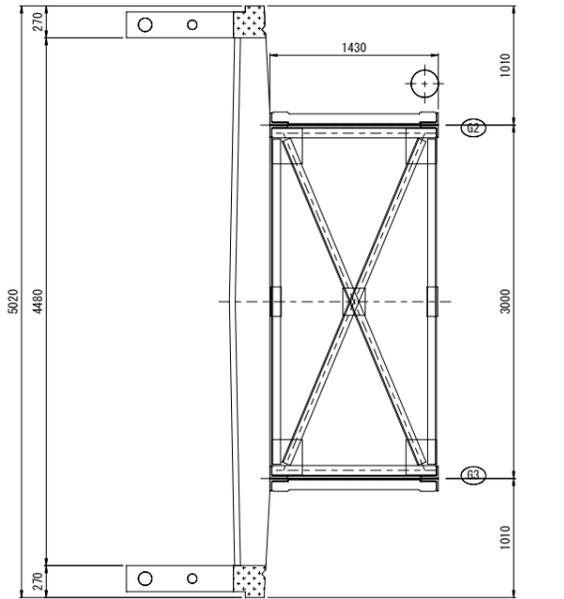
（第4径間 桁下面）

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

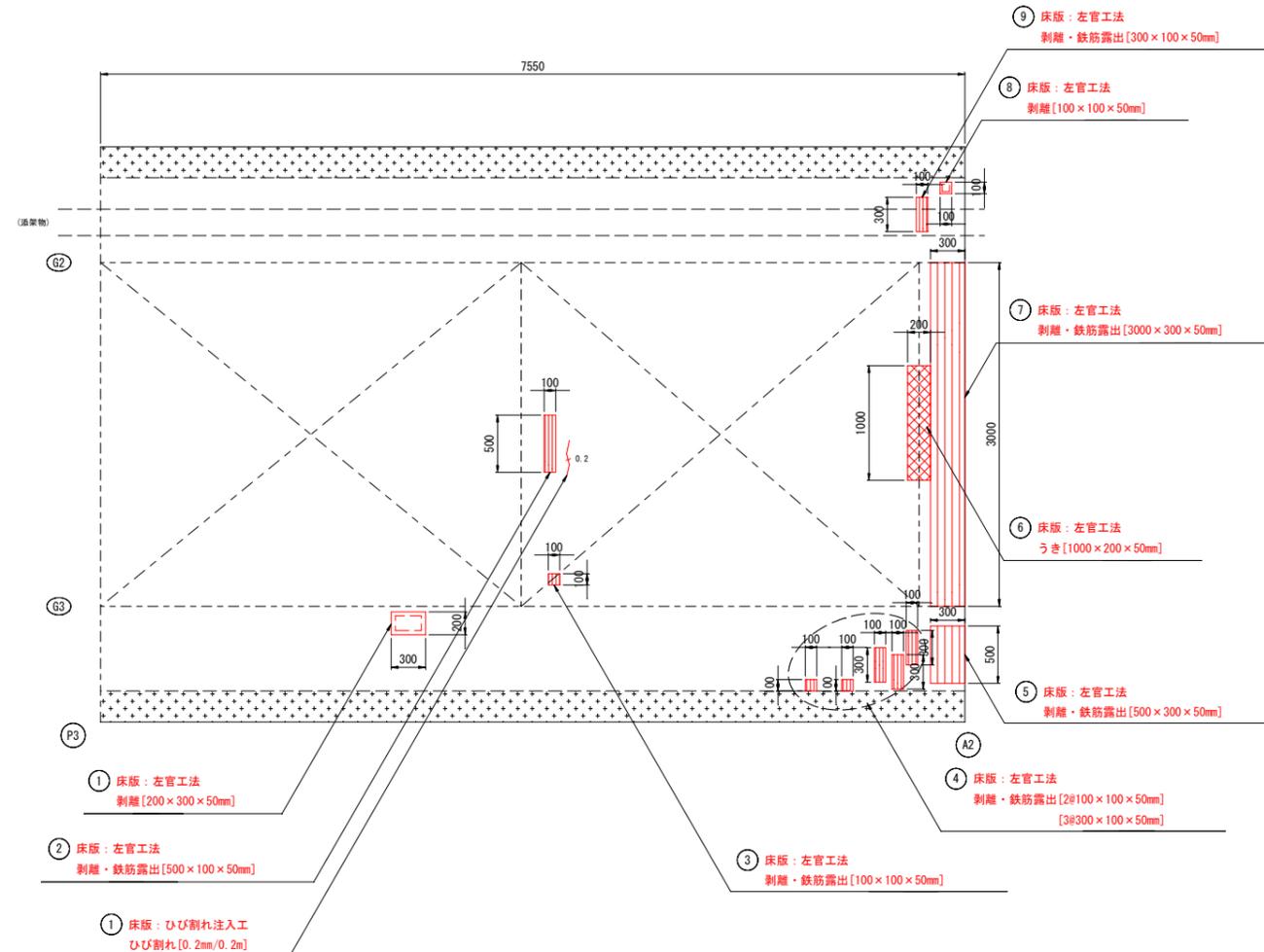
※凡例

番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

番号 部材：ひび割れ注入工  
損傷[幅(mm)/長さ(m)]



: 地覆補修工にて打替え

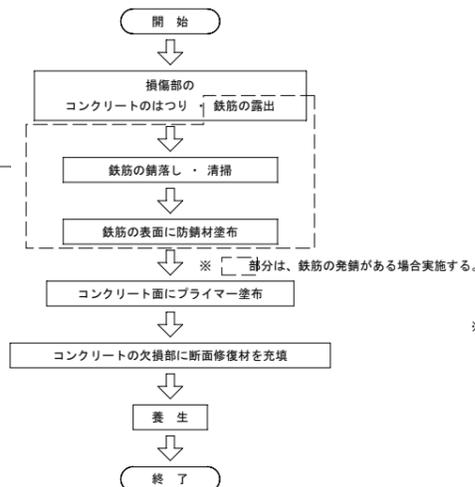


位置図

S=1:150

## 断面修復工〔左官工法〕

### 断面修復の施工フロー



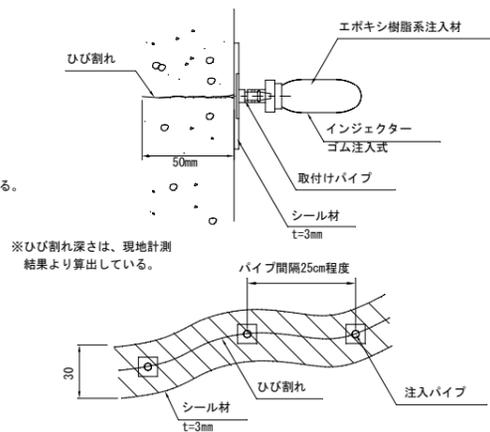
### 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※はつり厚は現地計測結果より算出している。(50mm程度とする)

## ひび割れ注入工

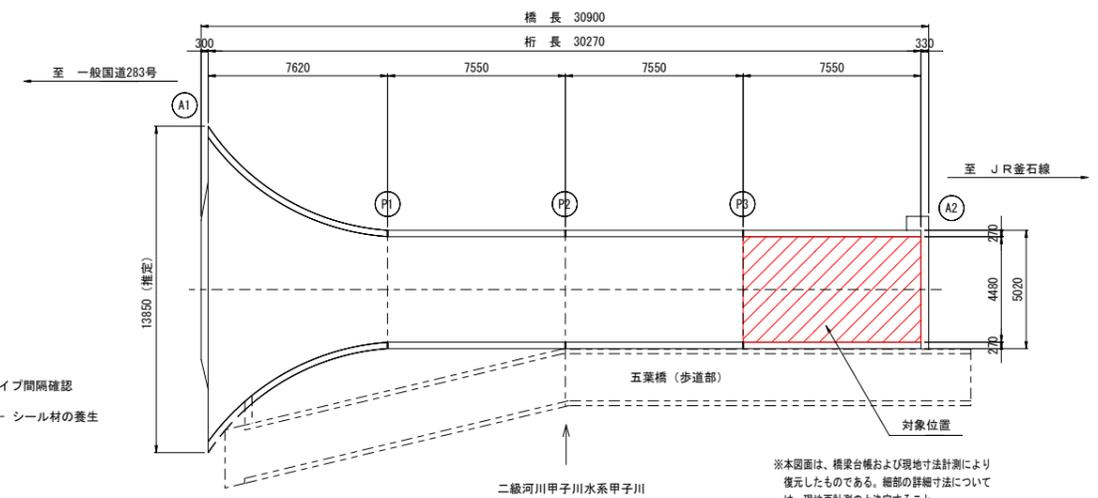
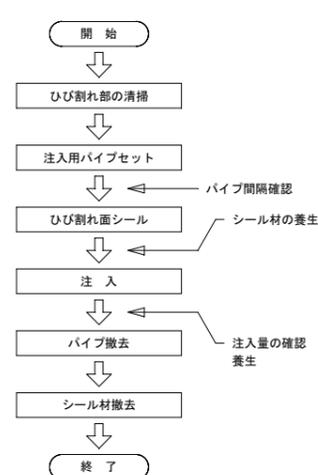
(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



### 材料表

工種	仕様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

### ひび割れ注入工の施工フロー



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 6	五葉橋（車道部） 床版補修図その4
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部） 床版補修図（その5）

## 数量表

第1径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	第1径間	① 0.100 × 0.100 × 0.050 = 0.0005 m <sup>3</sup>	0.0005 m <sup>3</sup>
		② 0.430 × 2.100 × 0.050 × 0.5 = 0.0226 m <sup>3</sup>	0.0226 m <sup>3</sup>
		③ 0.230 × 1.700 × 0.050 × 0.5 = 0.0098 m <sup>3</sup>	0.0098 m <sup>3</sup>
		④ 1.000 × 0.500 × 0.050 = 0.0250 m <sup>3</sup>	0.0250 m <sup>3</sup>
		⑤ 0.200 × 0.200 × 0.050 × 3 = 0.0060 m <sup>3</sup>	0.0060 m <sup>3</sup>
		⑥ 0.600 × 3.000 × 0.050 × 0.5 = 0.0450 m <sup>3</sup>	0.0450 m <sup>3</sup>
		⑦ 0.230 × 1.700 × 0.050 × 0.5 = 0.0098 m <sup>3</sup>	0.0098 m <sup>3</sup>
	計	0.119 m <sup>3</sup>	

第3径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	第3径間	① 0.200 × 0.800 × 0.050 = 0.0080 m <sup>3</sup>	0.0080 m <sup>3</sup>
		② 0.250 × 0.200 × 0.050 = 0.0025 m <sup>3</sup>	0.0025 m <sup>3</sup>
		③ 0.250 × 1.000 × 0.050 = 0.0125 m <sup>3</sup>	0.0125 m <sup>3</sup>
		④ 0.740 × 0.800 × 0.050 = 0.0296 m <sup>3</sup>	0.0296 m <sup>3</sup>
		⑤ 0.200 × 0.350 × 0.050 = 0.0035 m <sup>3</sup>	0.0035 m <sup>3</sup>
	計	0.056 m <sup>3</sup>	

第2径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	第2径間	① 0.100 × 0.100 × 0.050 × 2 = 0.0100 m <sup>3</sup>	0.0100 m <sup>3</sup>
		0.400 × 0.050 × 0.050 = 0.0010 m <sup>3</sup>	0.0010 m <sup>3</sup>
		② 0.100 × 0.100 × 0.050 × 2 = 0.0100 m <sup>3</sup>	0.0100 m <sup>3</sup>
		0.400 × 0.050 × 0.050 × 3 = 0.0030 m <sup>3</sup>	0.0030 m <sup>3</sup>
		③ 0.200 × 0.200 × 0.050 = 0.0020 m <sup>3</sup>	0.0020 m <sup>3</sup>
		④ 0.100 × 0.200 × 0.050 × 2 = 0.0020 m <sup>3</sup>	0.0020 m <sup>3</sup>
			計

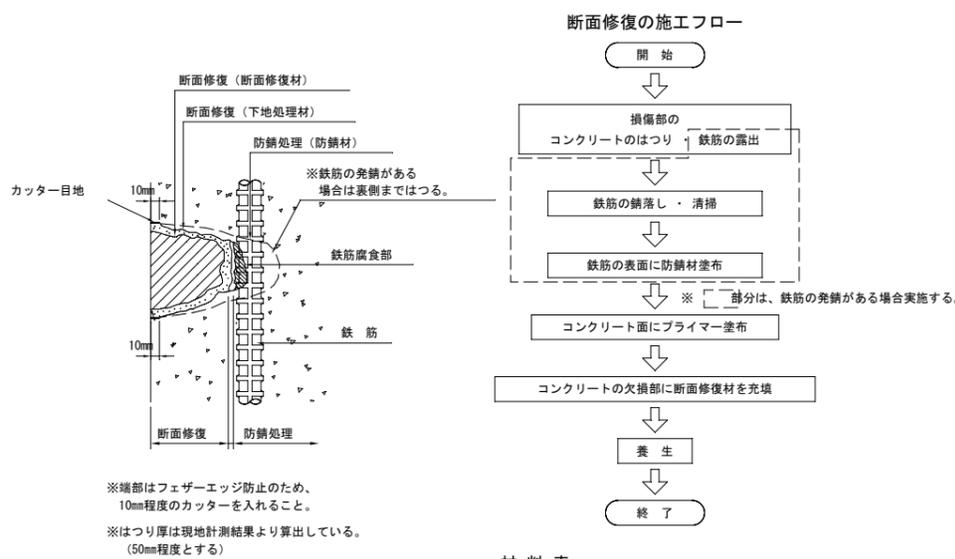
第4径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	第4径間	① 0.200 × 0.300 × 0.050 = 0.0030 m <sup>3</sup>	0.0030 m <sup>3</sup>
		② 0.500 × 0.100 × 0.050 = 0.0025 m <sup>3</sup>	0.0025 m <sup>3</sup>
		③ 0.100 × 0.100 × 0.050 = 0.0005 m <sup>3</sup>	0.0005 m <sup>3</sup>
		④ 0.100 × 0.100 × 0.050 × 2 = 0.0010 m <sup>3</sup>	0.0010 m <sup>3</sup>
		0.300 × 0.100 × 0.050 × 3 = 0.0045 m <sup>3</sup>	0.0045 m <sup>3</sup>
		⑤ 0.500 × 0.300 × 0.050 = 0.0075 m <sup>3</sup>	0.0075 m <sup>3</sup>
		⑥ 1.000 × 0.200 × 0.050 = 0.0100 m <sup>3</sup>	0.0100 m <sup>3</sup>
		⑦ 3.000 × 0.300 × 0.050 = 0.0450 m <sup>3</sup>	0.0450 m <sup>3</sup>
		⑧ 0.100 × 0.100 × 0.050 = 0.0005 m <sup>3</sup>	0.0005 m <sup>3</sup>
⑨ 0.300 × 0.100 × 0.050 = 0.0015 m <sup>3</sup>	0.0015 m <sup>3</sup>		
	計	0.076 m <sup>3</sup>	

工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量
低圧注入工法	第1径間 床版	① 0.2	0.200	1	0.2 m
				計	0.2 m

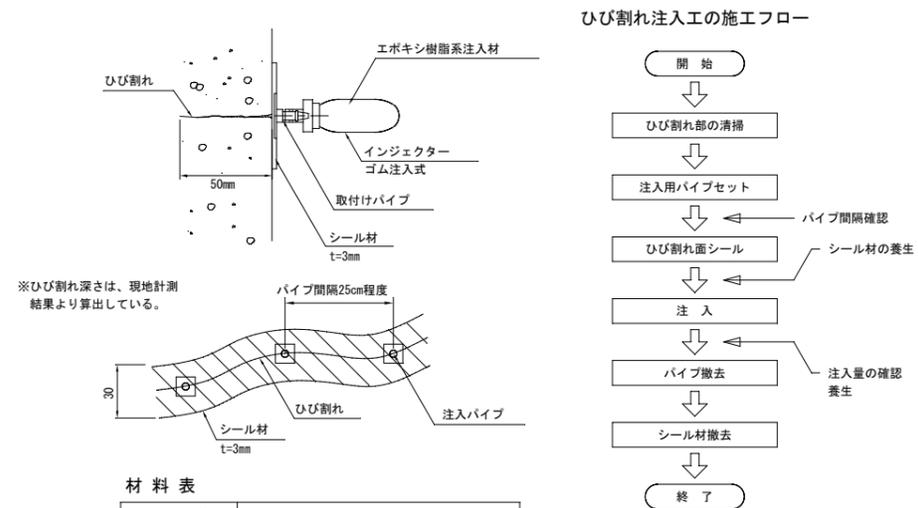
## 施工標準図

### 断面修復工〔左官工法〕



### ひび割れ注入工

(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

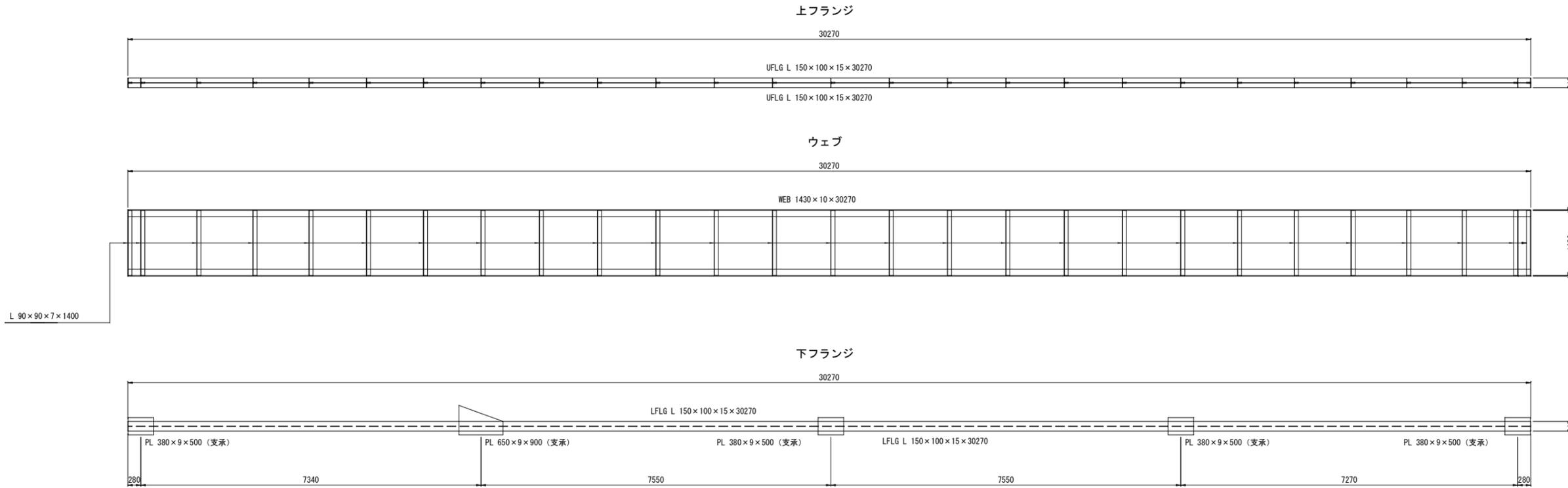
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 7	五葉橋（車道部） 床版補修図その5
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

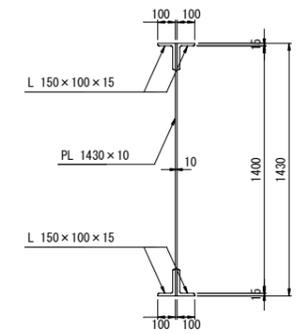
# 五葉橋（車道部） 鋼部材補修図（その1）

塗装塗替工

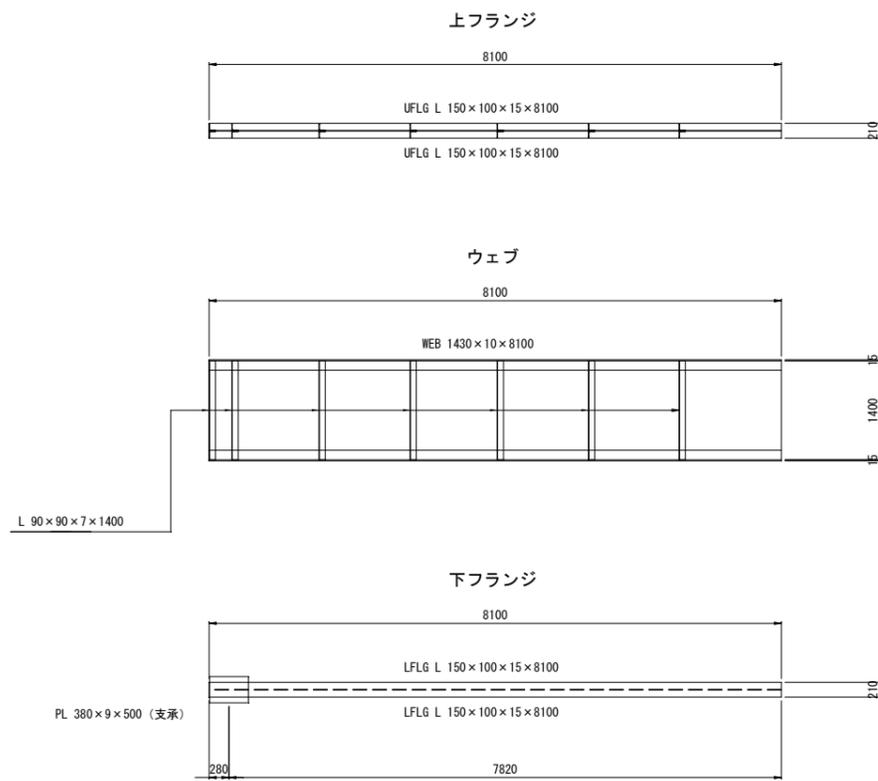
主桁詳細図（G2, G3） S=1:50



主桁断面図 S=1:20



主桁詳細図（G1, G4） S=1:50



## Rc-I 塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

- 公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。
- 1: 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
  - 2: 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
  - 3: プラスト処理による除せい度はISO Sa2 1/2とする。

- 主桁 (G2, G3) 塗装数量 (1主桁当たり) (N=2)
- 2-UFLG L 150×100×15×30270 (20%)
  - 1-WEB PL 1430×10×30270
  - 2-LFLG L 150×100×15×30270 (40%)
  - 54-VSTIFF L 90×90×7×1400 (50%)

- 主桁 (G1, G4) 塗装数量 (1主桁当たり) (N=2)
- 2-UFLG L 150×100×15×8100 (20%)
  - 1-WEB PL 1430×10×8100
  - 2-LFLG L 150×100×15×8100 (40%)
  - 14-VSTIFF L 90×90×7×1400 (50%)

- 支保 塗装数量 (全体)
- 10-PL 380×9×500
  - 2-PL 650×9×900 (70%)

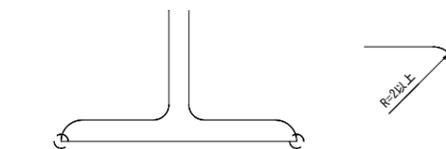
※ ( ) 内は、塗装面積の割合である。

## 塗膜調査結果

分析項目	単位	分析結果	定量下限値
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005未満	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.044	0.009
鉛又はその化合物	mg/L	70	0.03
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.15
砒素又はその化合物	mg/L	0.003	0.03
熱灼減量	%-dry	30	0.1
鉛	mg/kg	210000	5
六価クロム	mg/kg	0.05未満	5
PCB	mg/kg	5.2	0.01

※PCBの含有が確認できるため、処理方法は発注者と協議のこと。

## エッジ部曲面仕上げ



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。  
(下フランジエッジ部: 下側2角を対象とする)

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

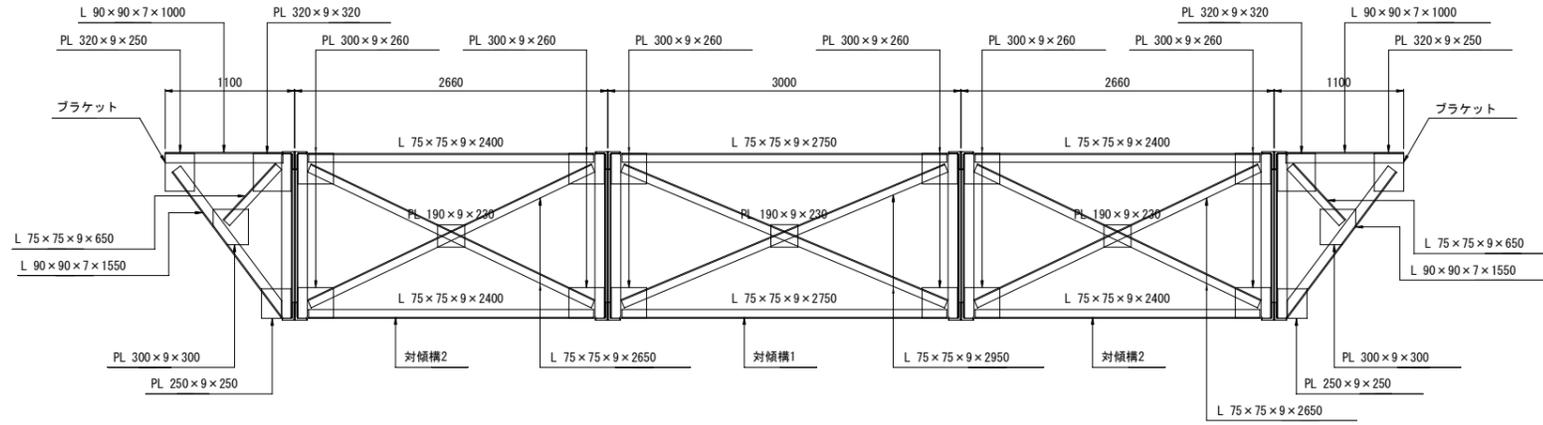
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 8	五葉橋 (車道部) 鋼部材補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

8/25

# 五葉橋（車道部） 鋼部材補修図（その2）

塗装塗替工

対傾構、ブラケット (A-A) S=1:30

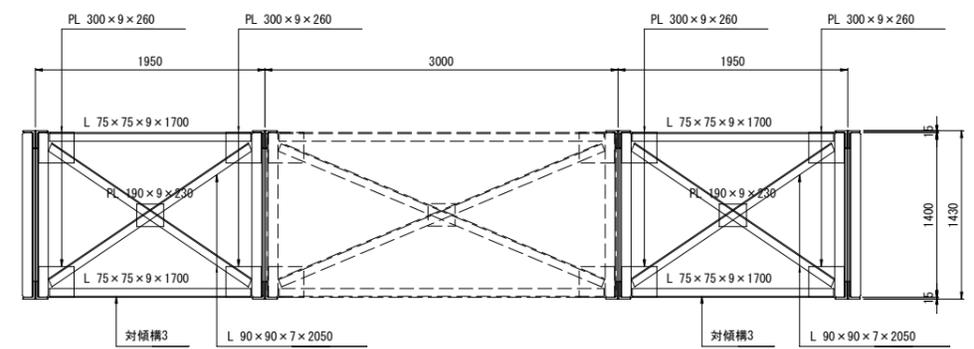


- ブラケット 塗装数量 (N=2) 1組当たり
- 1- L 90×90×7×1000 (75%)
  - 1- L 90×90×7×1550
  - 1- L 75×75×9×650
  - 1-GUSS PL 250×9×250 (70%)
  - 1-GUSS PL 320×9×250 (75%)
  - 1-GUSS PL 300×9×300 (75%)
  - 1-GUSS PL 320×9×320 (70%)

- 対傾構1 塗装数量 (N=9) 1組当たり
- 2- L 75×75×9×2750 (75%)
  - 2- L 75×75×9×2950
  - 1- PL 190×9×230 (65%)
  - 4- PL 300×9×260 (65%)

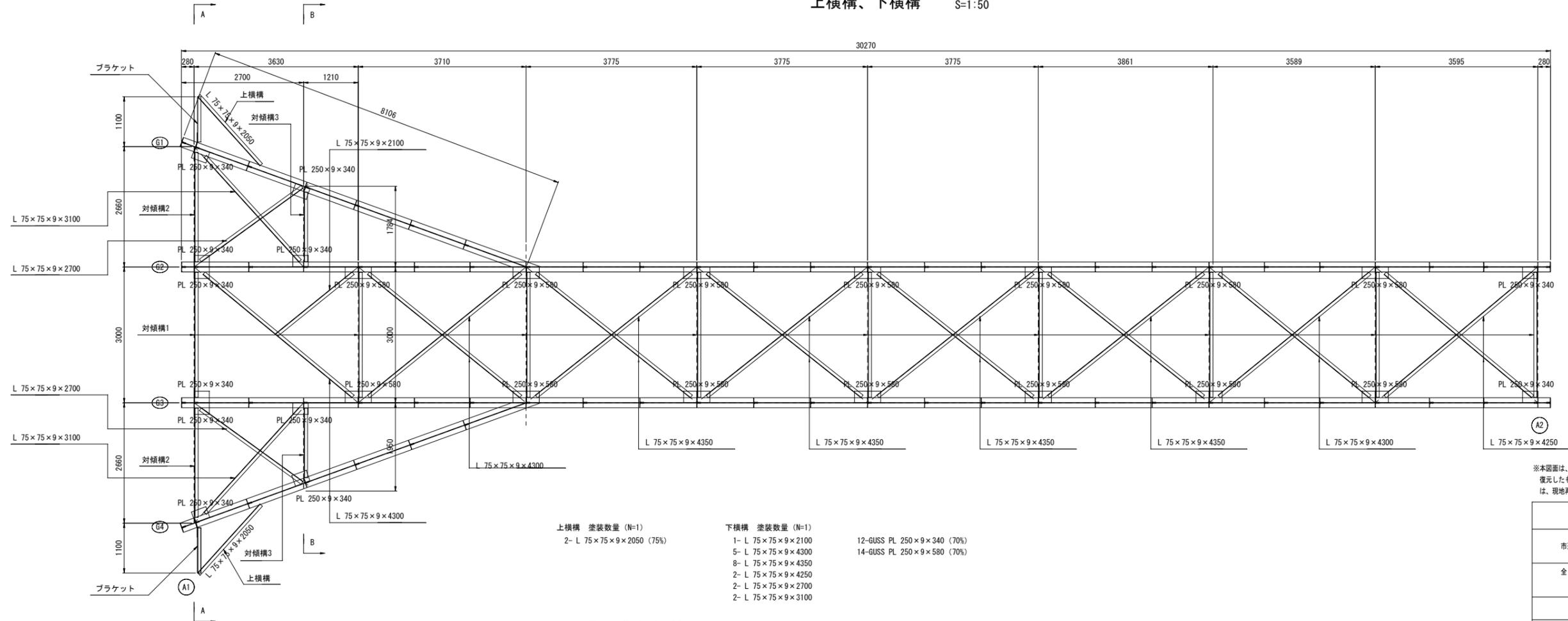
- 対傾構2 塗装数量 (N=2) 1組当たり
- 2- L 75×75×9×2400 (75%)
  - 2- L 75×75×9×2650
  - 1- PL 190×9×230 (65%)
  - 4- PL 300×9×260 (65%)

対傾構 (B-B) S=1:30



- 対傾構3 塗装数量 (N=2) 1組当たり
- 2- L 75×75×9×1700 (75%)
  - 2- L 75×75×9×2050
  - 1- PL 190×9×230 (65%)
  - 4- PL 300×9×260 (65%)

上横構、下横構 S=1:50



- 上横構 塗装数量 (N=1)
- 2- L 75×75×9×2050 (75%)

- 下横構 塗装数量 (N=1)
- 1- L 75×75×9×2100
  - 5- L 75×75×9×4300
  - 8- L 75×75×9×4350
  - 2- L 75×75×9×4250
  - 2- L 75×75×9×2700
  - 2- L 75×75×9×3100

- 12-GUSS PL 250×9×340 (70%)
- 14-GUSS PL 250×9×580 (70%)

※ ( ) 内は、塗装面積の割合である。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

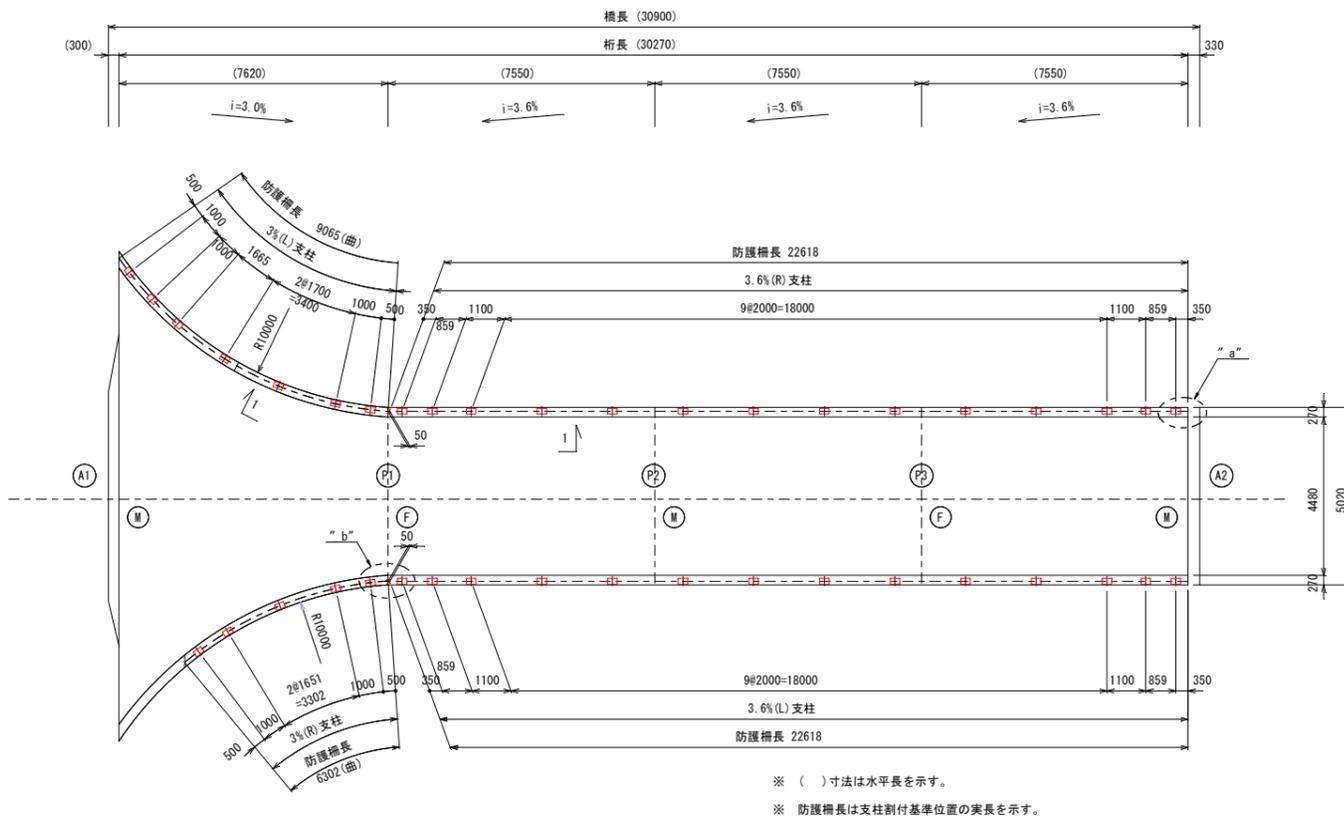
9/25

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 9	五葉橋（車道部） 鋼部材補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

# 五葉橋（車道部） 防護柵補修図（参考図）

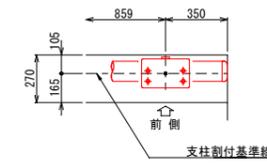
防護柵取替工 車道部

支柱割付平面図 S=1:100

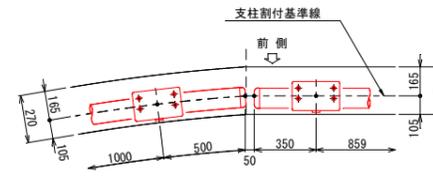


※ ( ) 寸法は水平長を示す。  
 ※ 防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。

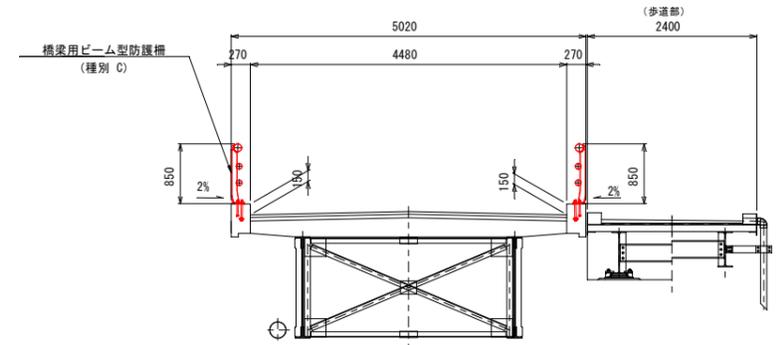
"a" 部詳細図 S=1:20



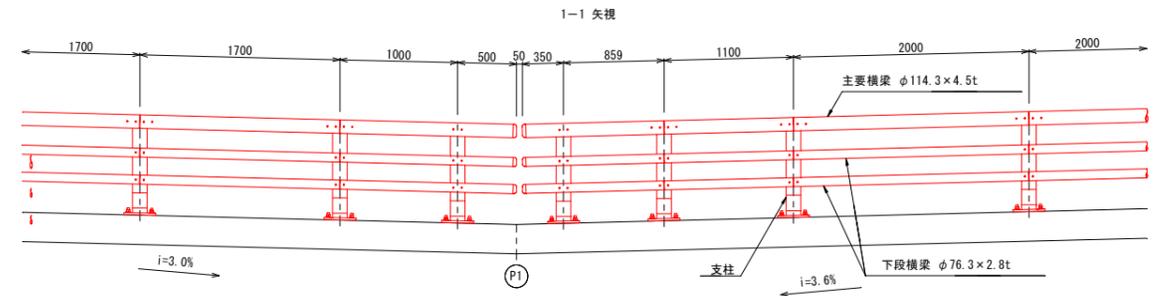
"b" 部詳細図 S=1:20



断面図 S=1:50

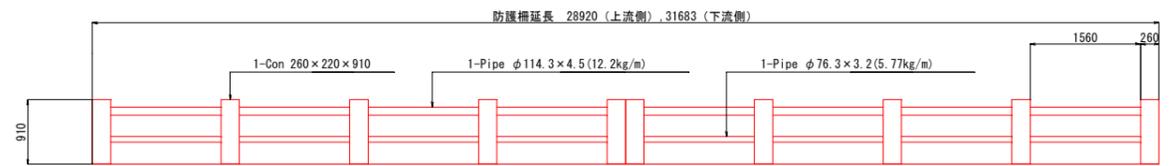


防護柵組立図 S=1:30

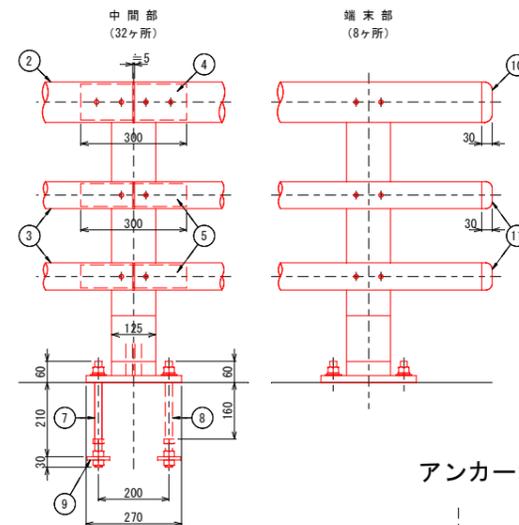
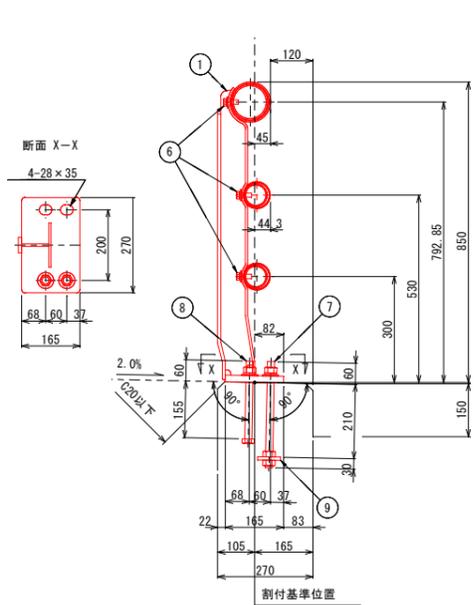


防護柵撤去図 S=1:50

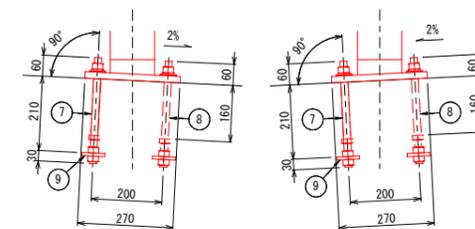
支柱本数 N=41本/橋



橋梁用ビーム型防護柵詳細図 (種別 C) S=1:10



アンカーボルト設置要領図 S=1:10



※ 地覆勾配に対して 90° に設置する。

## 材料表

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1	支柱	H850 x 165 x 125/270	SS400	16.03	40	641.2	HDZ35 + 工場塗装
2	主要横梁	φ114.3 x 4.5t	STK400	12.20	60.203 m	734.5	"
3	下段横梁	φ76.3 x 2.8t	"	5.08	120.406 m	611.7	"
4	スリーブ	φ101.6 x 4.5t x 300	"	3.23	32	103.4	"
5	"	φ65.0 x 4.0t x 300	"	1.80	64	115.2	"
6	取付ボルト	M12 x 35	(N1, SW1) 強度区分 6.8 以上	0.06	304	18.2	HDZ35
7	アンカーボルト	I-M20 x 300	(N3, W1, SW1) "	0.86	80	68.8	"
8	"	M20 x 220	(N1, W1, SW1) 強度区分 4.6 以上	0.68	80	54.4	"
9	アンカープレート	9t x 65 x 65	SS400	0.27	80	21.6	"
10	キャップ	φ114.3 x 30	アルミ製	0.47	8	3.8	工場塗装
11	"	φ76.3 x 30	"	0.24	16	3.8	"
合計						2376.6 kg	
防護柵長		60.603 m					
・R曲げ (R10m以上 R150m未満) : L = 15.367 m							
・勾配エキストラ (1.5%以上 10%未満) : L = 60.603 m							
※ [ 3.6%(R)支柱 14本, 3.6%(L)支柱 14本, 3%(R)支柱 5本, 3%(L)支柱 7本 ]							

特記) 橋梁用ビーム型防護柵は (一社) 全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。  
 特記) 塗装は溶融亜鉛メッキ仕様を標準とする。

## 注記

- 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(平成28年12月)による。
- コンクリート設計基準強度は  $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$  とする。

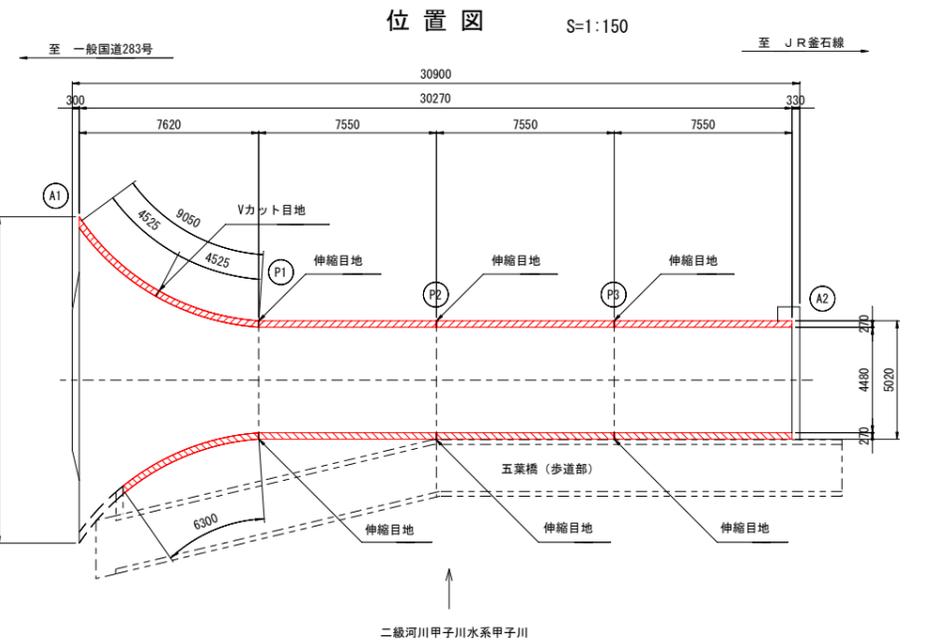
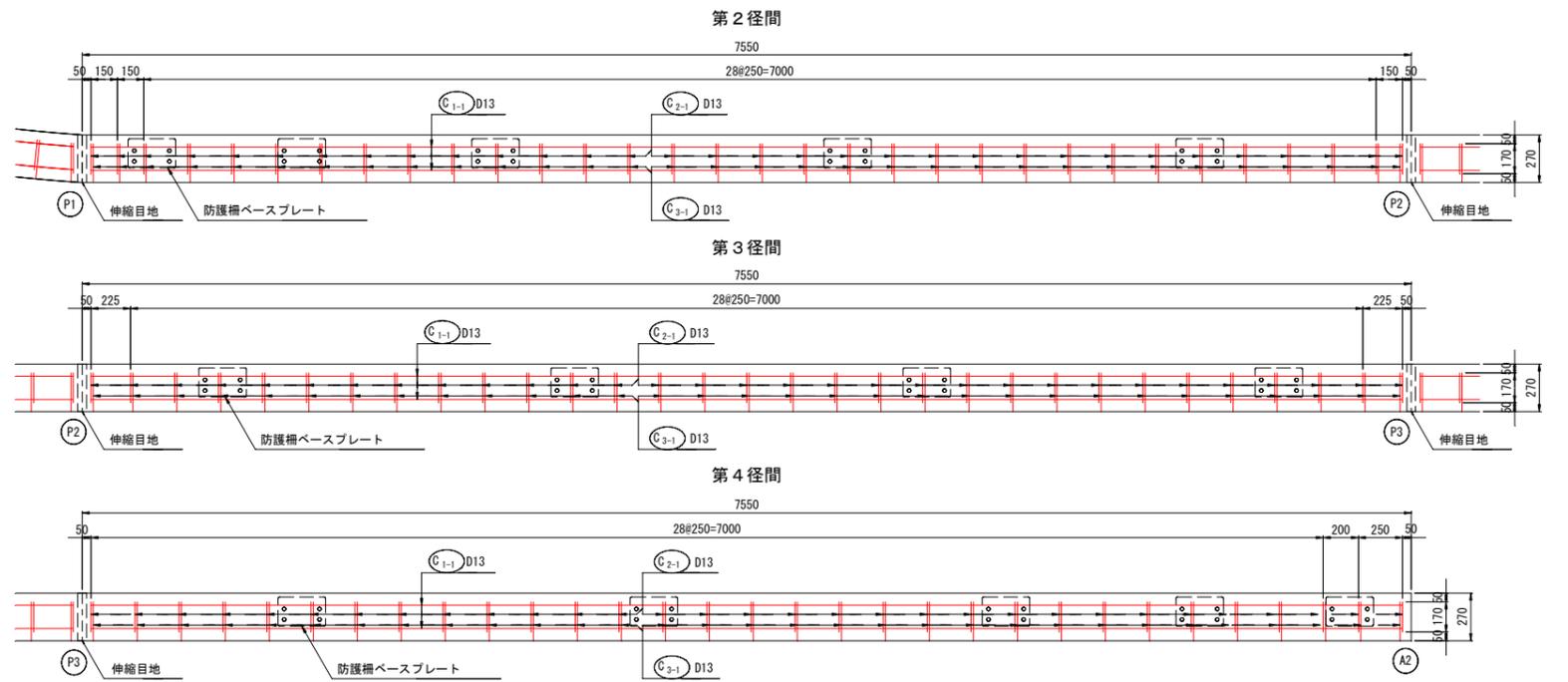
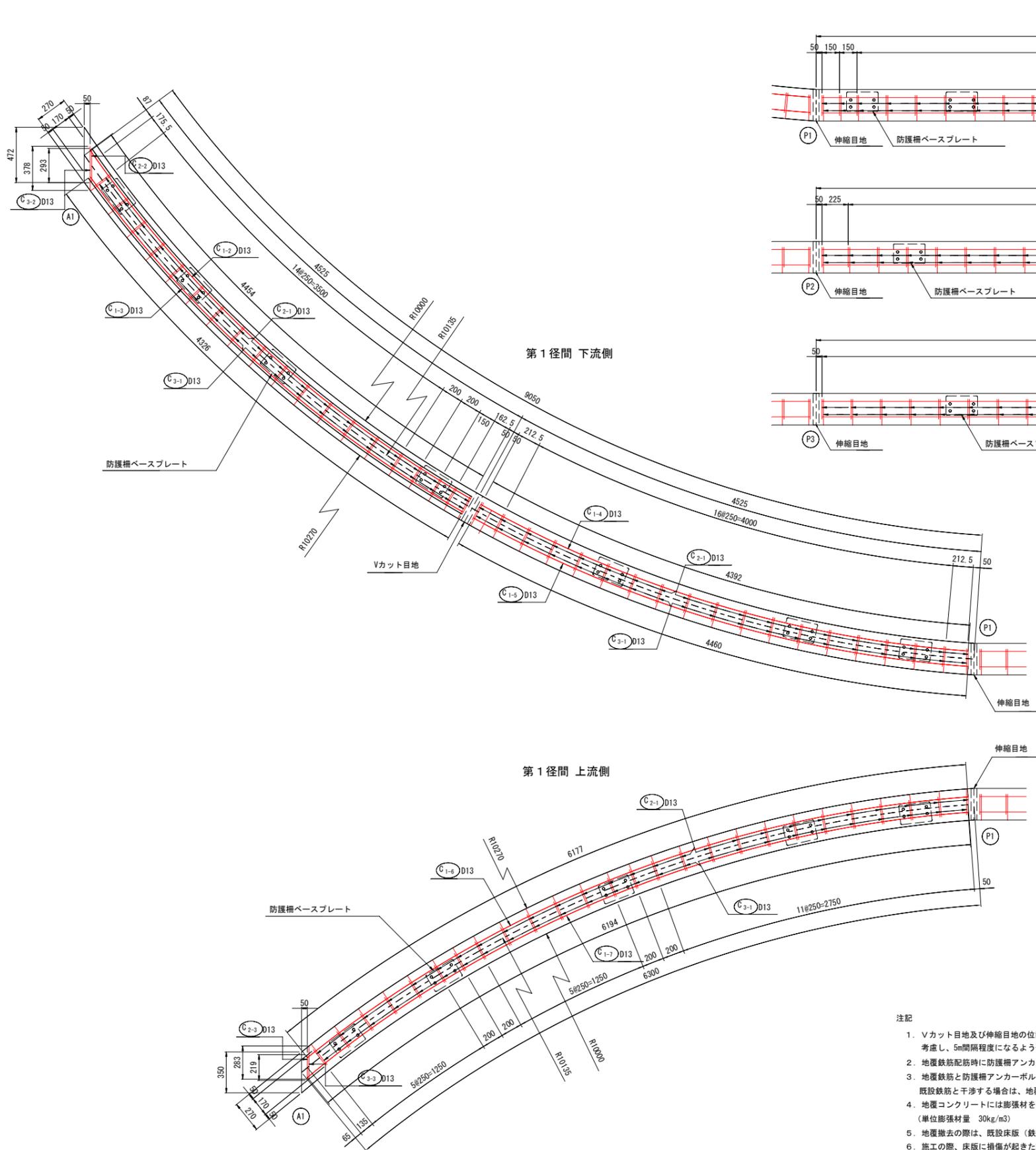
この図面は原図を1/2に縮小して  
 いるものであり、図示される縮尺  
 は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
 復元したものである。細部の詳細寸法につ  
 いては、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 10	五葉橋(車道部) 防護柵補修図(参考図)
令和 5 年度	
大松1号線(五葉橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

# 五葉橋（車道部） 地覆補修図（その1）

平面図 S=1:20



- 注記
- Vカット目地及び伸縮目地の位置は、既設鉄筋配置状況・防護柵支柱位置を考慮し、5m間隔程度になるよう位置を最終決定すること。
  - 地覆鉄筋配筋時に防護柵アンカーボルト、プレートを設置すること。
  - 地覆鉄筋と防護柵アンカーボルト、プレートが既設鉄筋と干渉する場合は、地覆鉄筋をずらして設置すること。  
(単位膨張材量 30kg/m<sup>3</sup>)
  - 地覆コンクリートには膨張材を用いる。
  - 地覆撤去の際は、既設床版（鉄筋）を傷つけないように注意すること。
  - 施工の際、床版に損傷が起きた場合、監督員と協議し適切な処置を行うこと。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

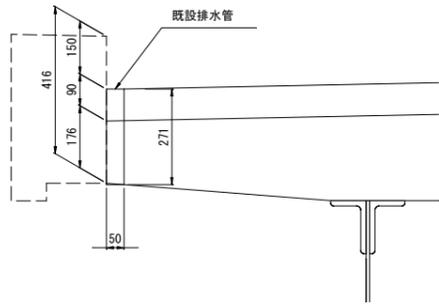
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 11	五葉橋（車道部） 地覆補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示



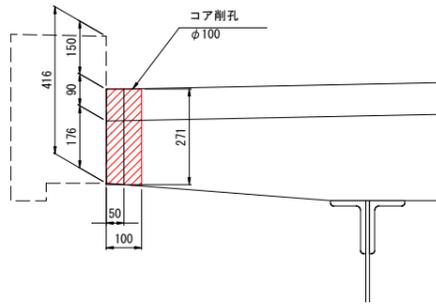
# 五葉橋（車道部）排水装置補修図

既設排水樹埋め立て S=1:10

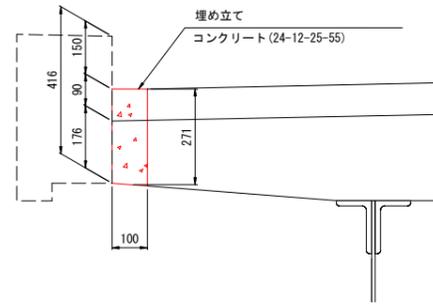
1. 現況



2. 既設排水装置撤去

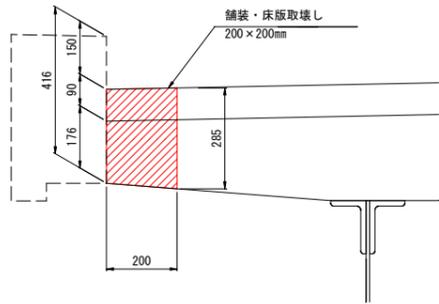


3. 埋め立て

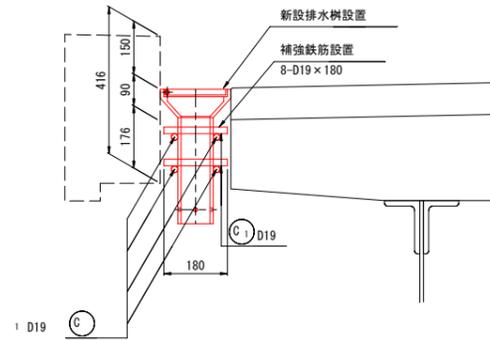


新設排水樹設置 S=1:10

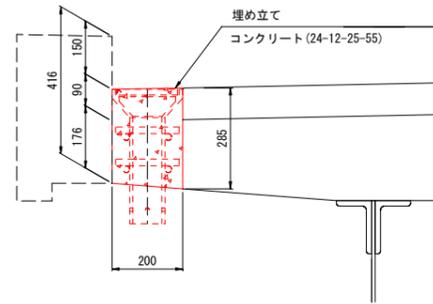
1. 舗装・床版撤去



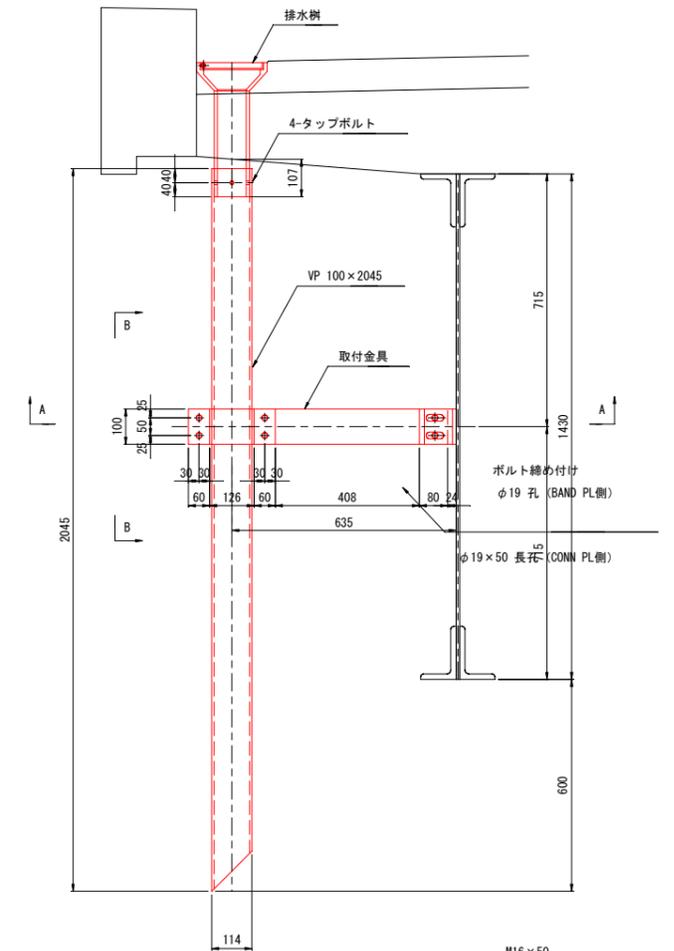
2. 新設排水樹・補強鉄筋設置



3. 埋め立て

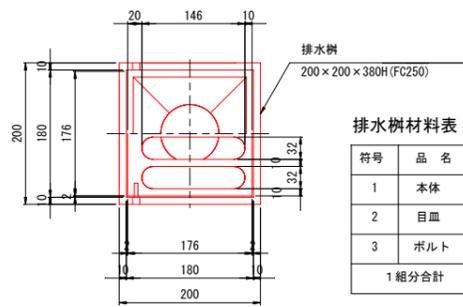


排水管設置詳細図 S=1:10



排水樹詳細図 S=1:5

平面図



排水樹材料表

符号	品名	材質	数量	重量 (kg)
1	本体	FC250	1	11.5
2	目皿	FC250	1	2.1
3	ボルト	SS400	2	0.1
1組分合計 (kg)				13.7

埋込材料表

工種	仕様
埋め立て	コンクリート 24-12-25-55

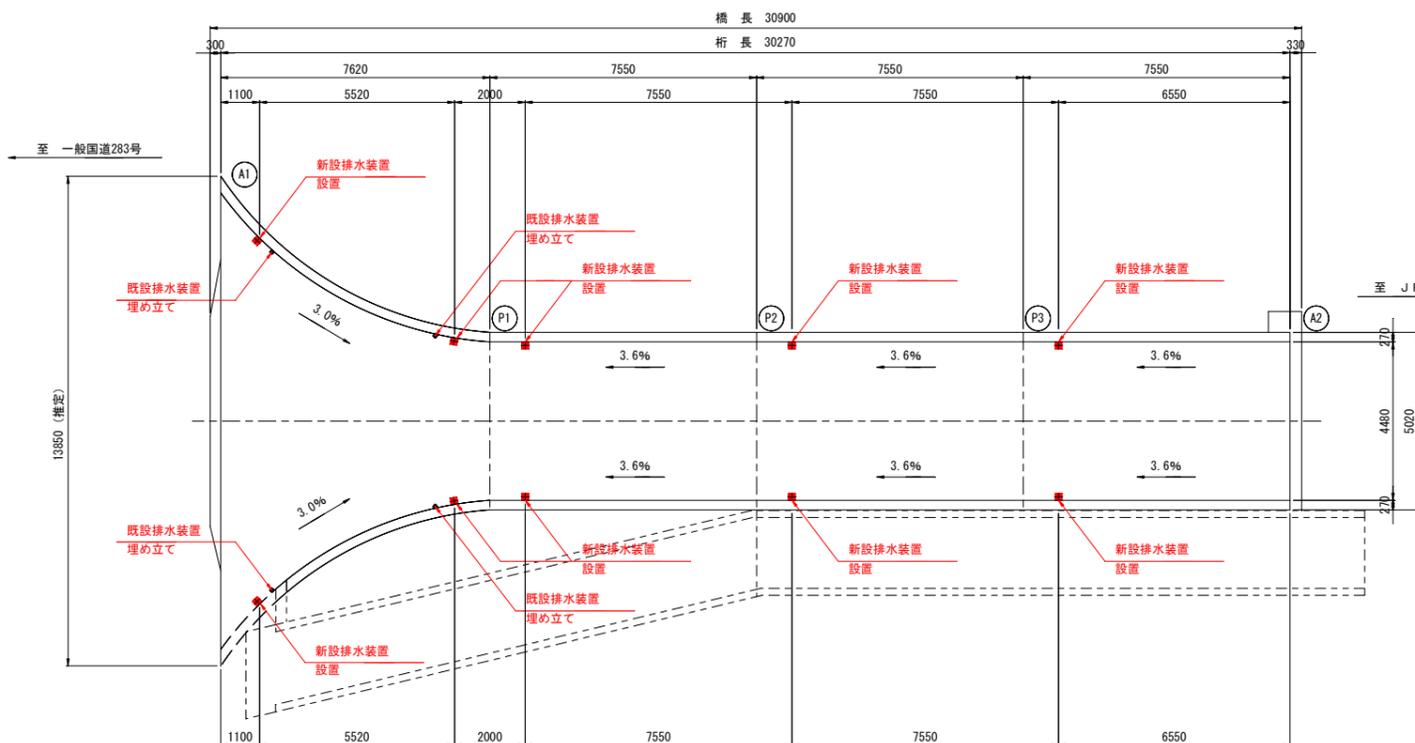
取付金具 N=10

- 2-PL 100×6×306 (SS400) ※CAD計測
- 2-PL 100×6×581 (SS400) ※CAD計測
- 2-L 90×90×10×100 (SS400)
- 4-BN (2-W) M16×40 (SS400)
- 4-BN (2-W) M16×45 (SS400)
- 4-BN (2-W) M16×50 (SS400)

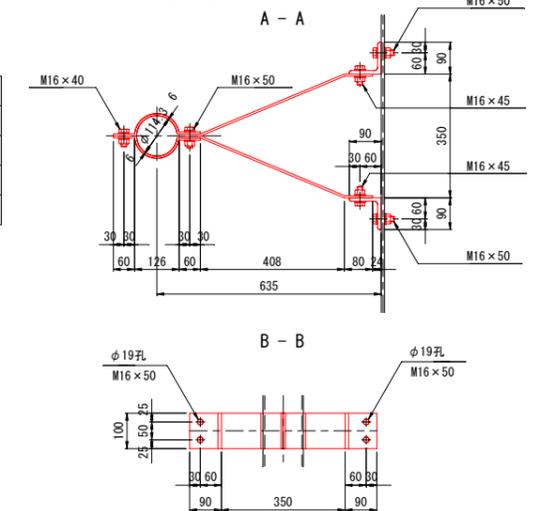
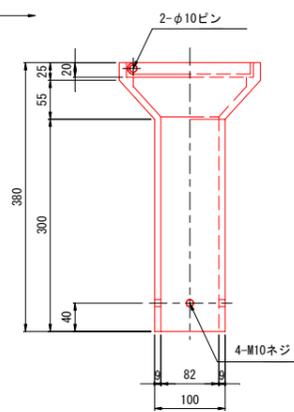
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
C <sub>1</sub>	D19	180	8	2.25	0.41	3	—
				1箇所当り	D19	3 kg	
				10箇所当り	D19	30 kg	

位置図 S=1:100



側面図



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 13	五葉橋（車道部） 排水装置補修図
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その1）

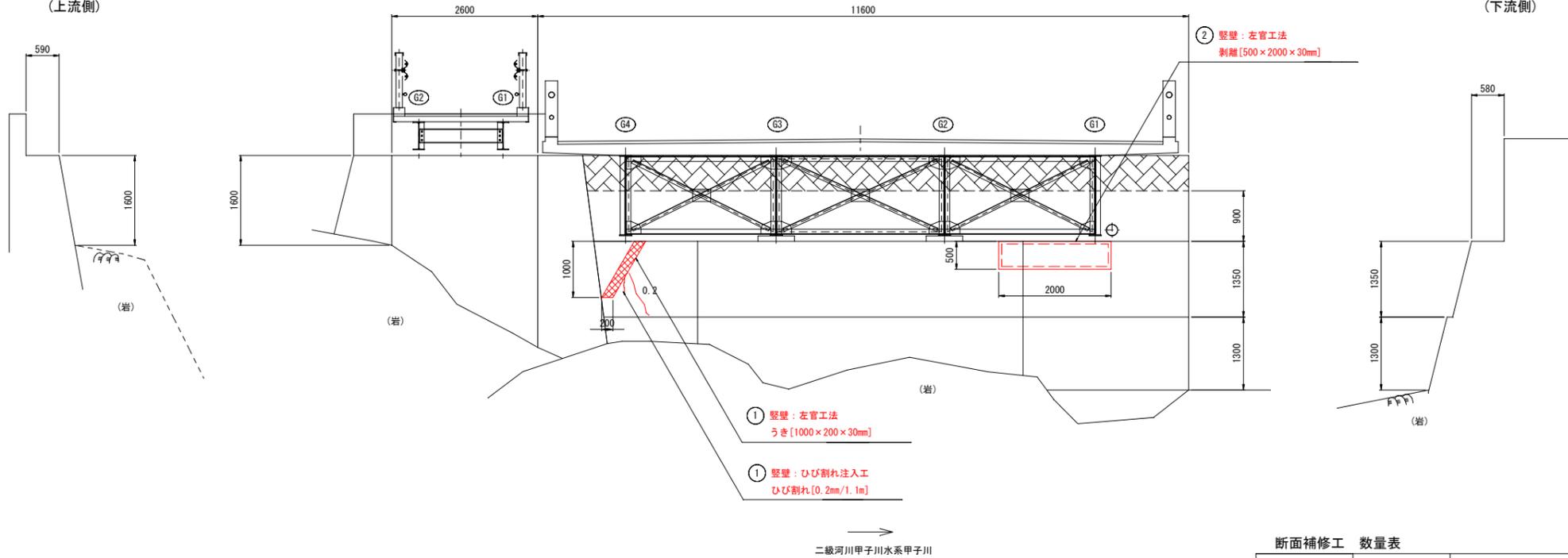
S=1:50

## 断面補修工（A1橋台）

### 正面図

### 側面図 （上流側）

### 側面図 （下流側）



損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例

番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

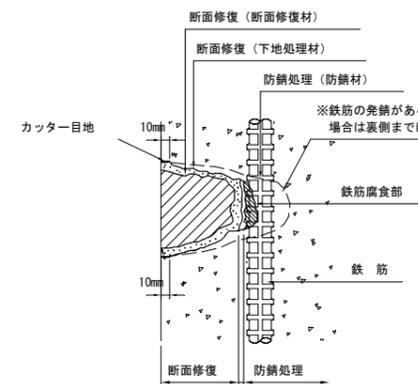
番号 部材：ひび割れ注入工  
損傷[幅(mm)/長さ(m)]

### 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法			数量		
		①	②	③			
左官工法	A1橋台	①	1.000	× 0.200	× 0.030	=	0.0060 m <sup>3</sup>
		②	0.500	× 2.000	× 0.030	=	0.0300 m <sup>3</sup>
計					=	0.036 m <sup>3</sup>	

### 断面修復工〔左官工法〕

#### 断面修復の施工フロー



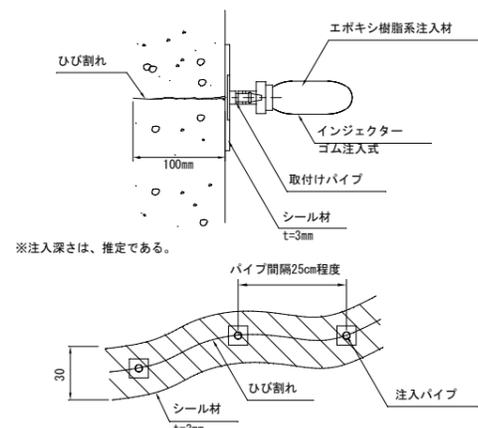
※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※断面修復厚は、劣化が表面的であるため、30mm程度としている。

#### 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

### ひび割れ注入工

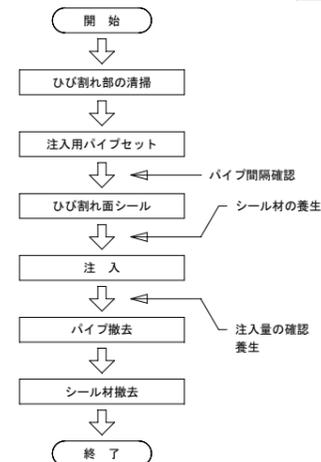
（ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満）  
（注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法）



#### 材料表

工種	仕様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

#### ひび割れ注入工の施工フロー



### ひび割れ注入工 数量表

工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量	
						①
低圧注入工法	A1橋台	①	0.2	1.100	1	1.1 m
		計				1.1 m

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 14	五葉橋（車道部） 下部工補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

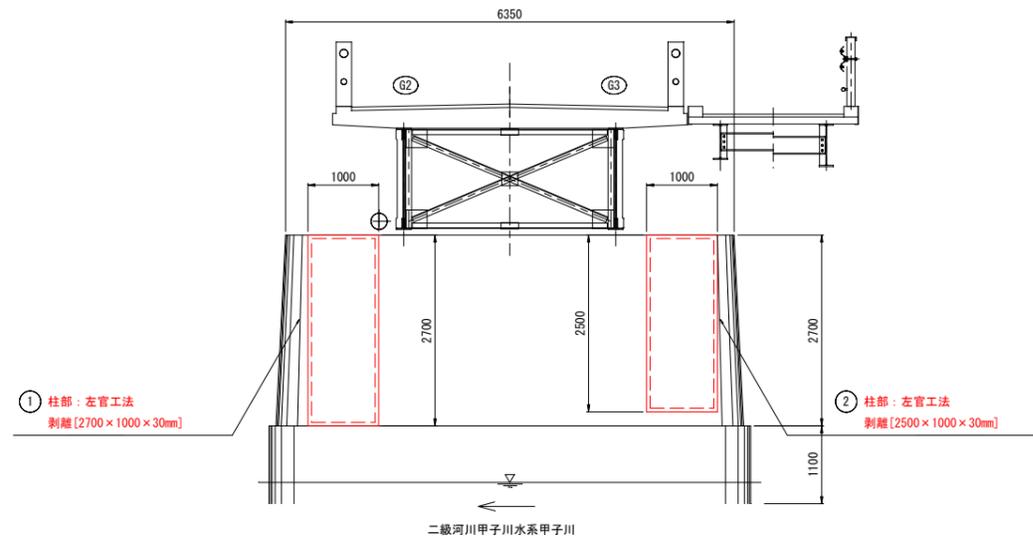
# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その2）

S=1:50

## 断面補修工（P1橋脚）

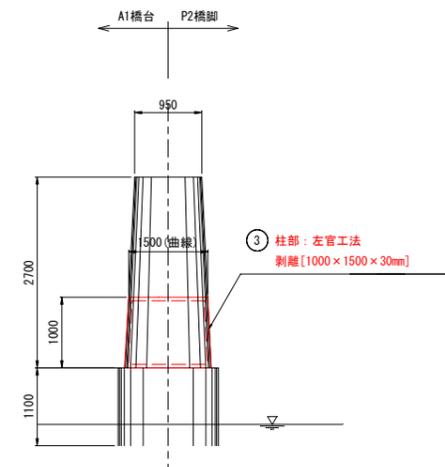
### 正面図

(A1橋台側)



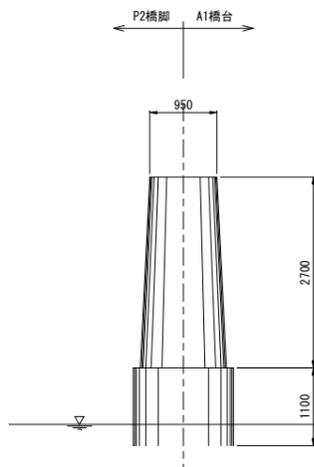
### 側面図

(上流側)



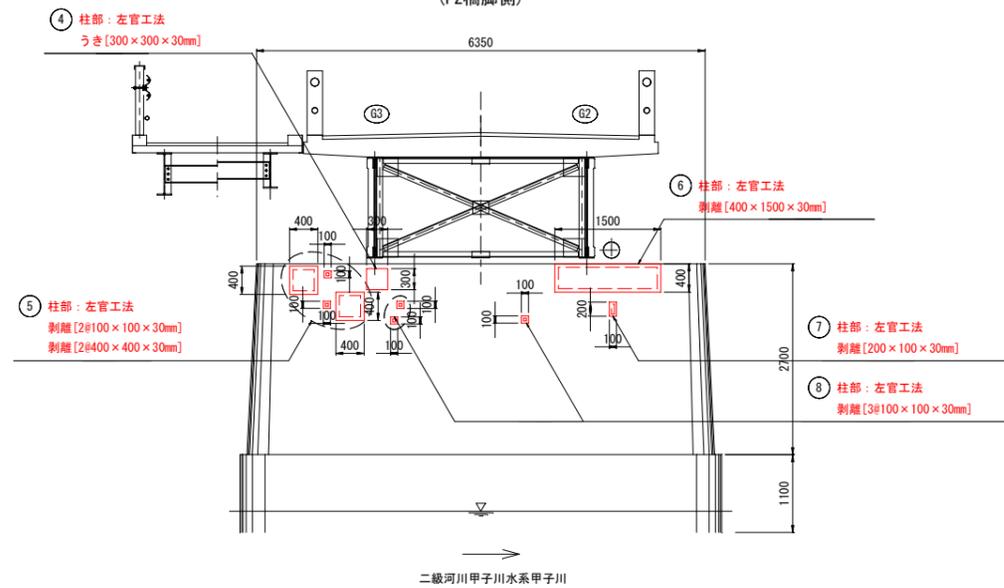
### 側面図

(下流側)



### 正面図

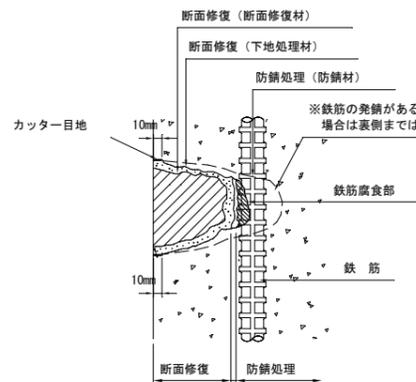
(P2橋脚側)



損傷の種類	表示
ひびわれ	
剝離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例  
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

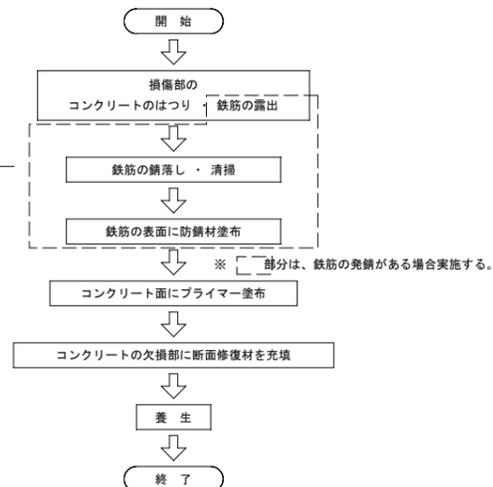
## 断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。

※断面修復厚は、劣化が表面的であるため、30mm程度としている。

### 断面修復の施工フロー



### 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

### 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法			数量	
		縦	横	厚		
左官工法	P1橋脚	①	2.700	× 1.000	× 0.030	= 0.0810 m <sup>3</sup>
		②	2.500	× 1.000	× 0.030	= 0.0750 m <sup>3</sup>
		③	1.000	× 1.500	× 0.030	= 0.0450 m <sup>3</sup>
		④	0.300	× 0.300	× 0.030	= 0.0027 m <sup>3</sup>
		⑤	0.100	× 0.100	× 0.030 × 2	= 0.0006 m <sup>3</sup>
		⑥	0.400	× 0.400	× 0.030 × 2	= 0.0096 m <sup>3</sup>
		⑦	0.400	× 1.500	× 0.030	= 0.0180 m <sup>3</sup>
		⑧	0.100	× 0.100	× 0.030 × 3	= 0.0009 m <sup>3</sup>
		計			= 0.233 m <sup>3</sup>	

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 15	五葉橋（車道部） 下部工補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その3）

S=1:50

## 断面補修工（P2橋脚）

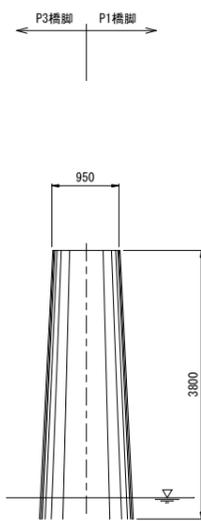
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例

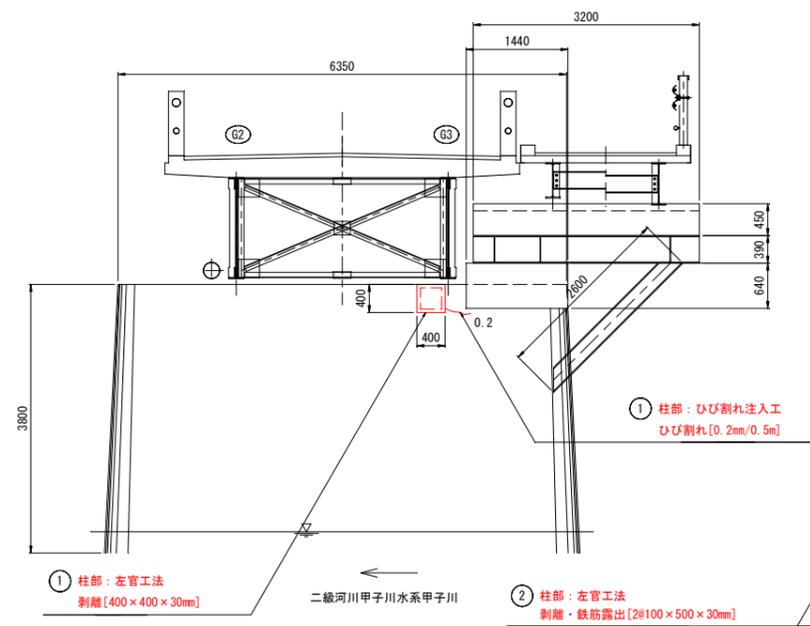
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×長さ(mm)]

番号 部材：ひび割れ注入工  
損傷[幅(mm)/長さ(m)]

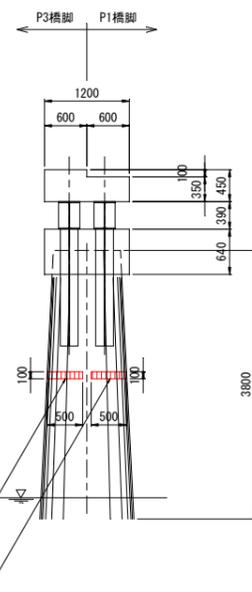
側面図  
(下流側)



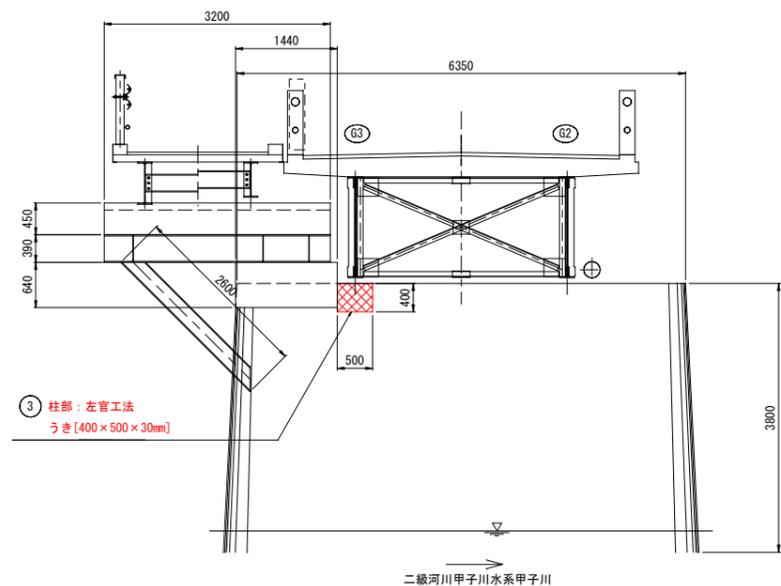
正面図  
(P1橋脚側)



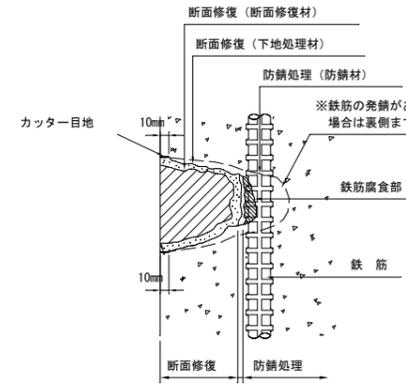
側面図  
(上流側)



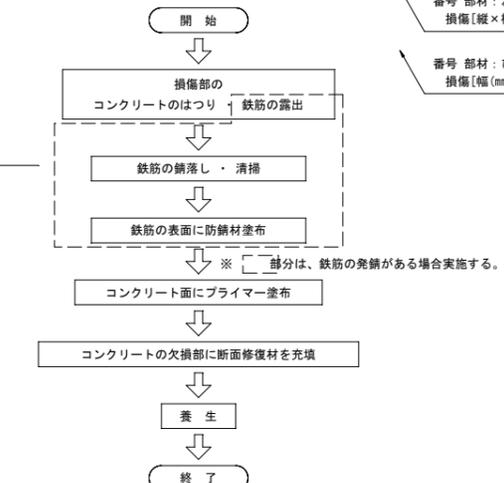
正面図  
(A2橋台側)



### 断面修復工〔左官工法〕



### 断面修復の施工フロー

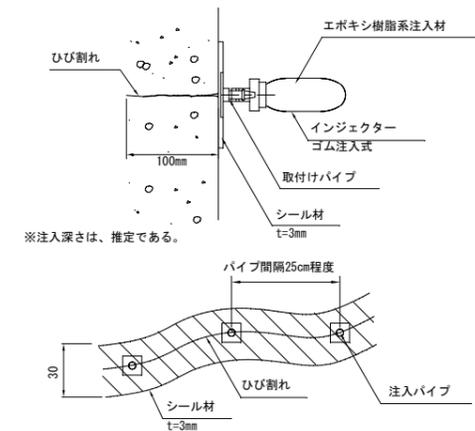


### 材料表

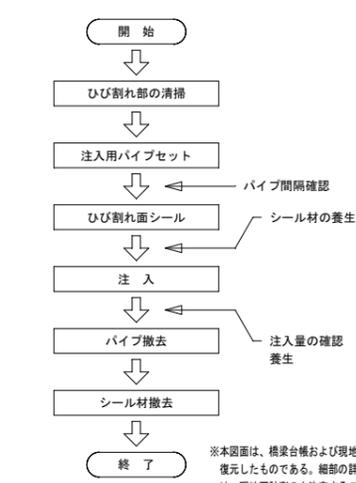
工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

### ひび割れ注入工

(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



### ひび割れ注入工の施工フロー



### 材料表

工種	仕様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

### 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	P2橋脚	① 0.400 × 0.400 × 0.030	= 0.0048 m <sup>3</sup>
		② 0.100 × 0.500 × 0.030 × 2	= 0.0030 m <sup>3</sup>
		③ 0.400 × 0.500 × 0.030	= 0.0060 m <sup>3</sup>
計			= 0.014 m <sup>3</sup>

### ひび割れ注入工 数量表

工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量
低圧注入工法	P2橋脚	① 0.2	0.500	1	0.5 m
		計			

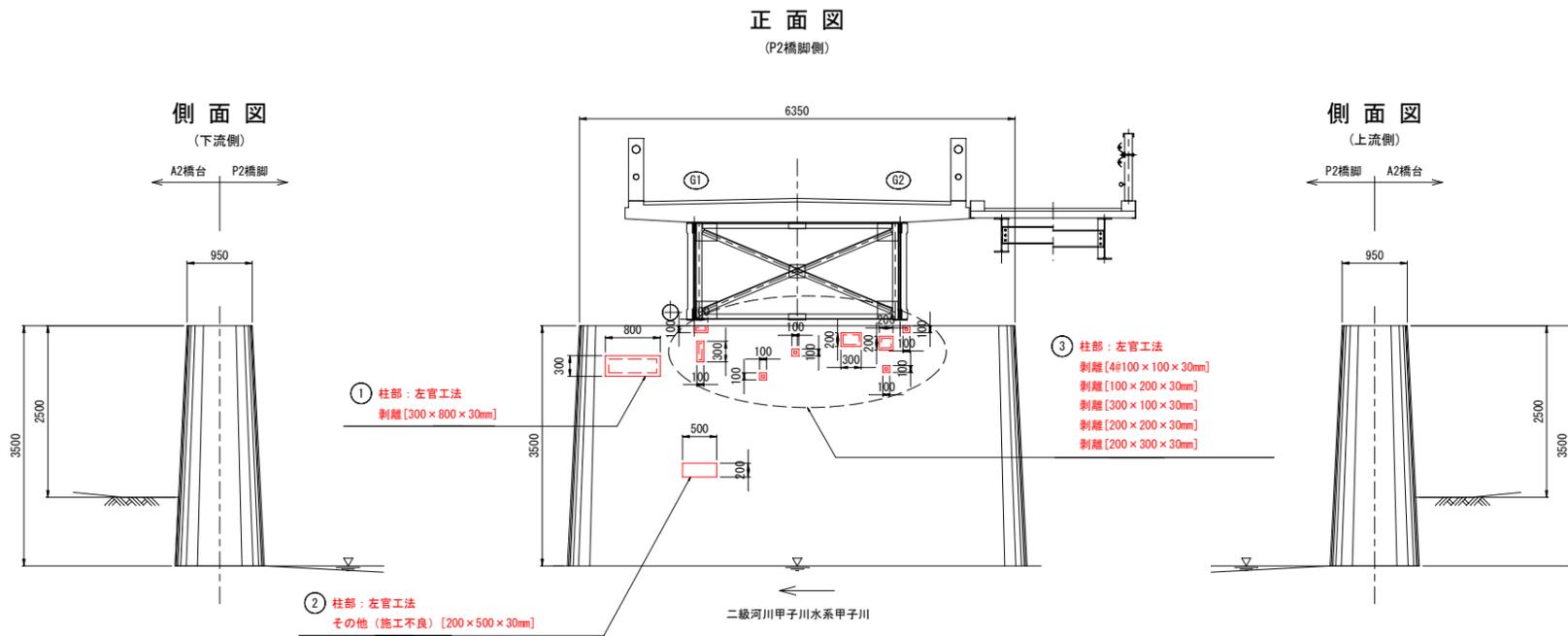
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 16	五葉橋 (車道部) 下部工補修図その3
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

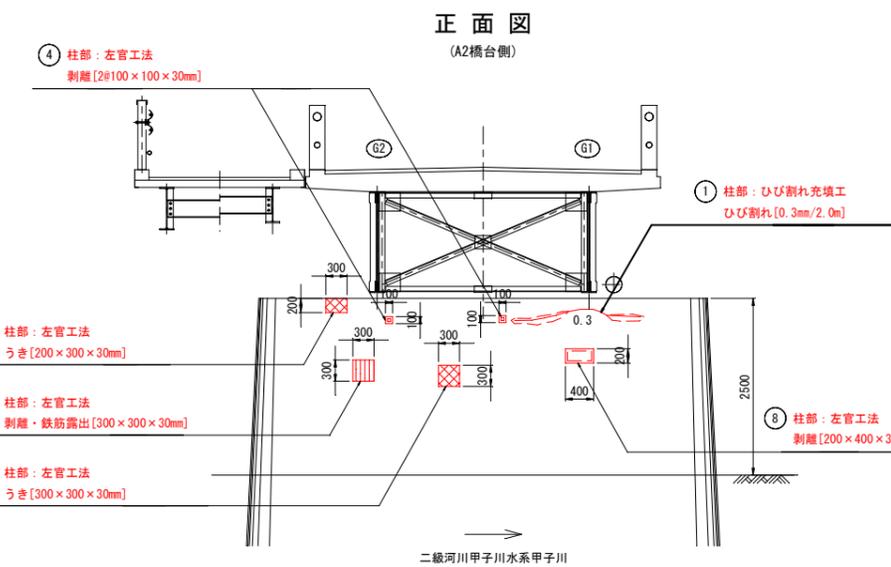
# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その4）

S=1:50

## 断面補修工（P3橋脚）



- ① 柱部：左官工法  
剥離 [300×800×30mm]
- ② 柱部：左官工法  
その他（施工不良） [200×500×30mm]
- ③ 柱部：左官工法  
剥離 [4#100×100×30mm]  
剥離 [100×200×30mm]  
剥離 [300×100×30mm]  
剥離 [200×200×30mm]  
剥離 [200×300×30mm]



- ④ 柱部：左官工法  
剥離 [2#100×100×30mm]
- ⑤ 柱部：左官工法  
うき [200×300×30mm]
- ⑥ 柱部：左官工法  
剥離・鉄筋露出 [300×300×30mm]
- ⑦ 柱部：左官工法  
うき [300×300×30mm]
- ⑧ 柱部：左官工法  
剥離 [200×400×30mm]
- ① 柱部：ひび割れ充填工  
ひび割れ [0.3mm/2.0m]

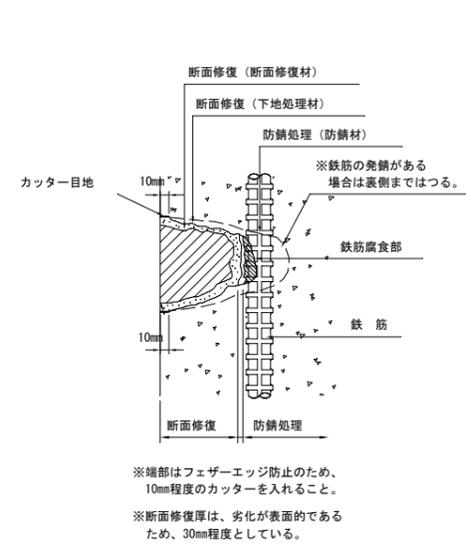
断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	P3橋脚	① 0.300 × 0.800 × 0.030 = 0.0072 m <sup>3</sup>	
		② 0.200 × 0.500 × 0.030 = 0.0030 m <sup>3</sup>	
		0.100 × 0.100 × 0.030 × 4 = 0.0012 m <sup>3</sup>	
		0.100 × 0.200 × 0.030 = 0.0006 m <sup>3</sup>	
		③ 0.300 × 0.100 × 0.030 = 0.0009 m <sup>3</sup>	
		0.200 × 0.200 × 0.030 = 0.0012 m <sup>3</sup>	
		0.200 × 0.300 × 0.030 = 0.0018 m <sup>3</sup>	
		④ 0.100 × 0.100 × 0.030 × 2 = 0.0006 m <sup>3</sup>	
		⑤ 0.200 × 0.300 × 0.030 = 0.0018 m <sup>3</sup>	
		⑥ 0.300 × 0.300 × 0.030 = 0.0027 m <sup>3</sup>	
⑦ 0.300 × 0.300 × 0.030 = 0.0027 m <sup>3</sup>			
⑧ 0.200 × 0.400 × 0.030 = 0.0024 m <sup>3</sup>			
	計	0.026 m <sup>3</sup>	

ひび割れ充填工 数量表

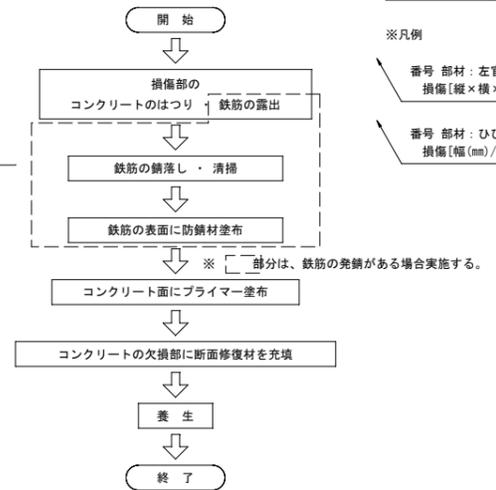
工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量	
Uカット工法	P3橋脚	①	0.3	2,000	1	2.0 m
		計				2.0 m

## 断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザージェッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※断面修復厚は、劣化が表面的であるため、30mm程度としている。

## 断面修復の施工フロー



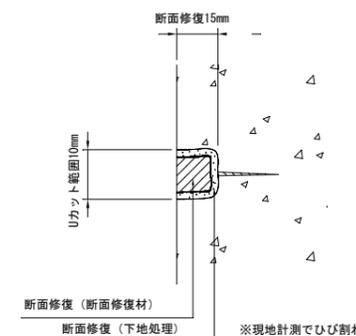
## 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

## ひび割れ充填工

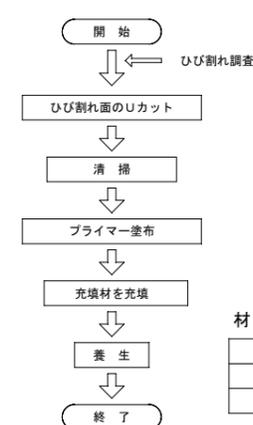
(Uカット工法)

(ひび割れ幅 1.0mm 以上、遊離石灰を伴う箇所)



※現地計測でひび割れ幅が0.2mm以上1.0mm未満であることが確認された場合ひび割れ注入工を行うこと。

## ひび割れ充填工の施工フロー



## 材料表

工種	仕様
下地処理	溶剤型エポキシ樹脂プライマー
断面修復材	可とう性エポキシ樹脂

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 17	五葉橋（車道部） 下部工補修図その4
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その5）

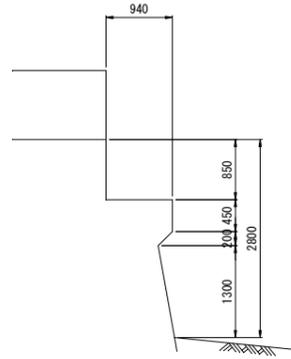
S=1:50

## 断面補修工（A2橋台）

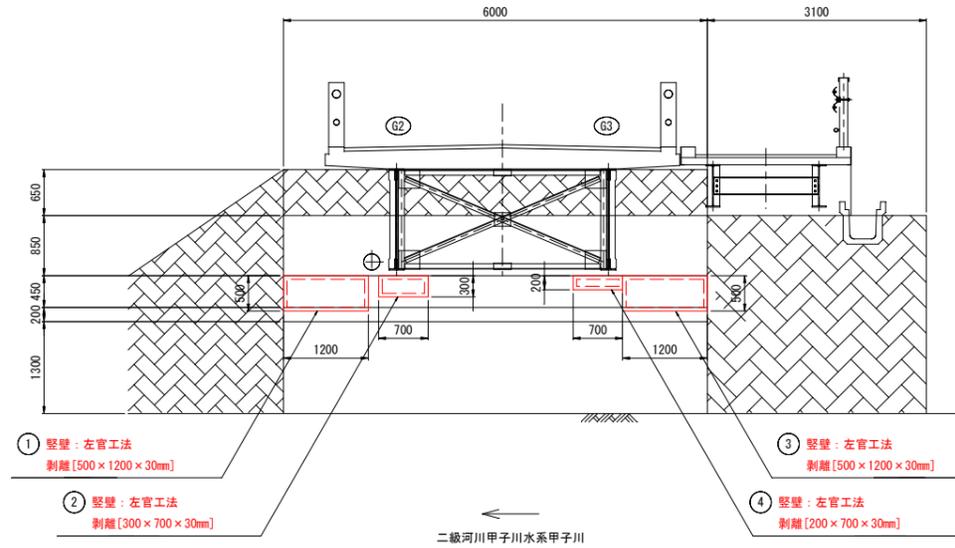
損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例  
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

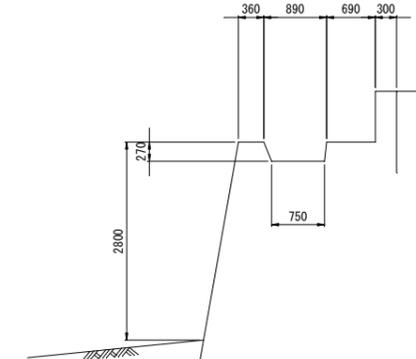
側面図  
(下流側)



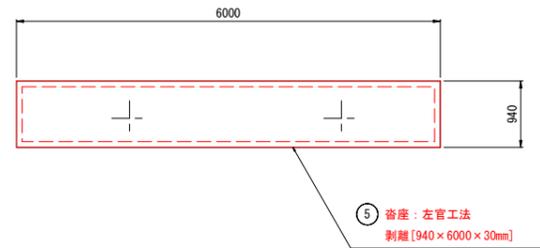
正面図



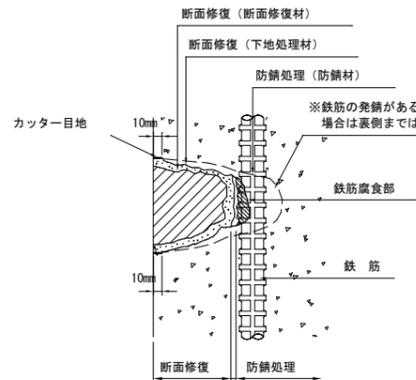
側面図  
(上流側)



平面図

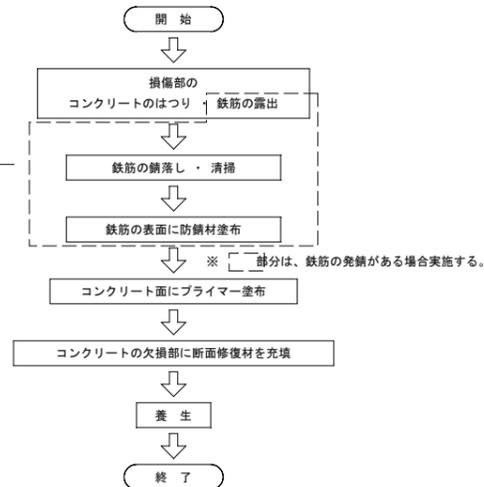


### 断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。  
※断面修復厚は、劣化が表面的であるため、30mm程度としている。

#### 断面修復の施工フロー



#### 材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

#### 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	A2橋台	① 0.500 × 1.200 × 0.030	= 0.0180 m3
		② 0.300 × 0.700 × 0.030	= 0.0063 m3
		③ 0.500 × 1.200 × 0.030	= 0.0180 m3
		④ 0.200 × 0.700 × 0.030	= 0.0042 m3
		⑤ 0.940 × 6.000 × 0.030	= 0.1692 m3
	計		= 0.216 m3

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 18	五葉橋 (車道部) 下部工補修図その5
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

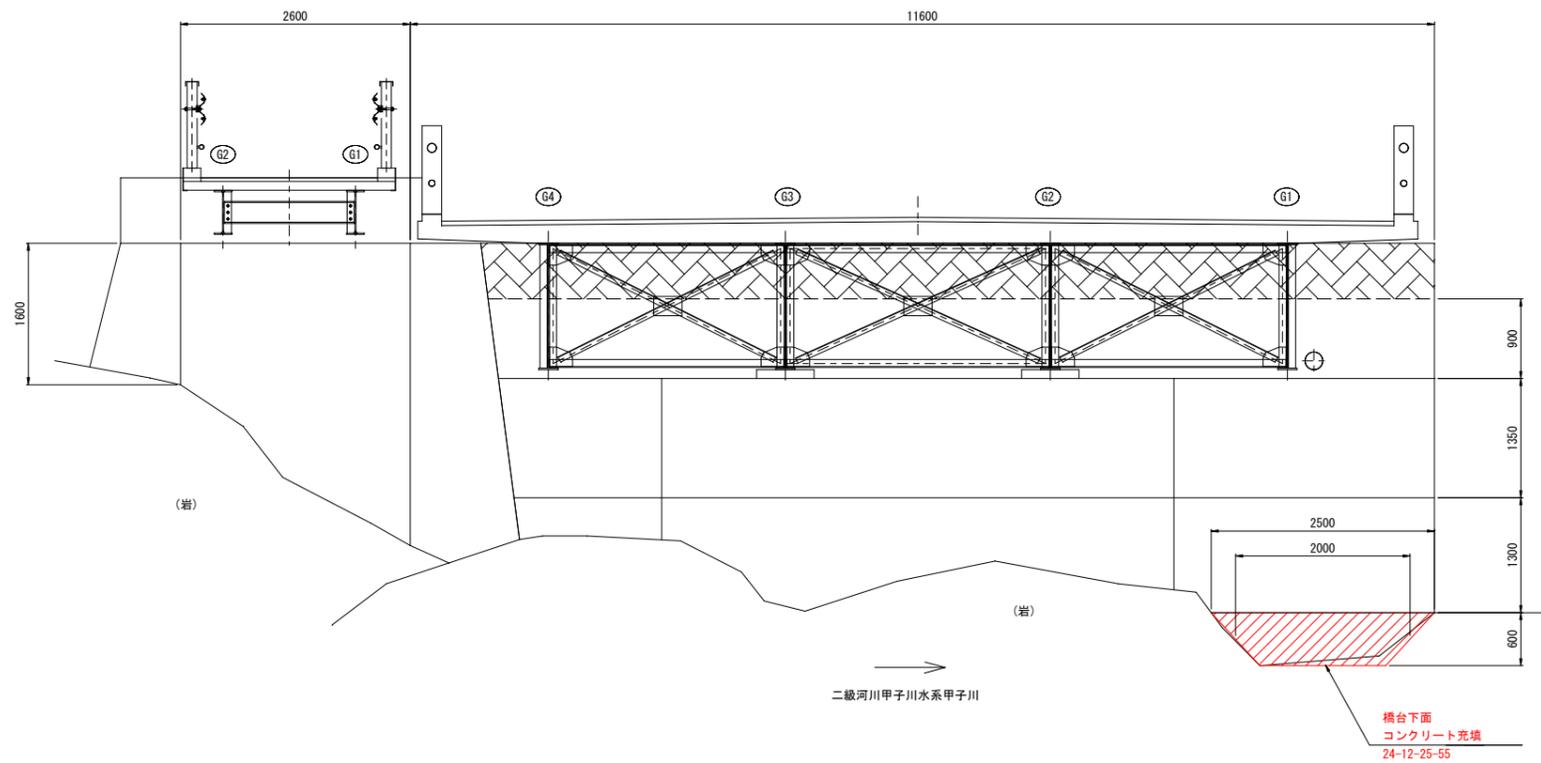
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その6）

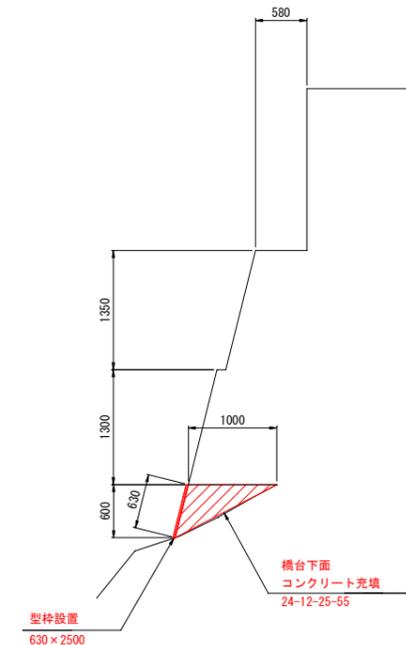
S=1:40

コンクリート充填（A1橋台）

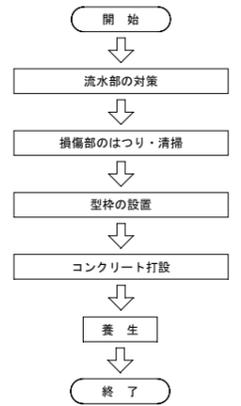
正面図



側面図  
(下流側)



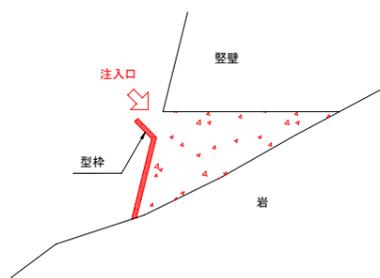
施工フロー



材料表

工種	仕様
充填工	コンクリート 24-12-25-55

充填工概要図



注記

- 劣化部は除去後、清掃を行うこと。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

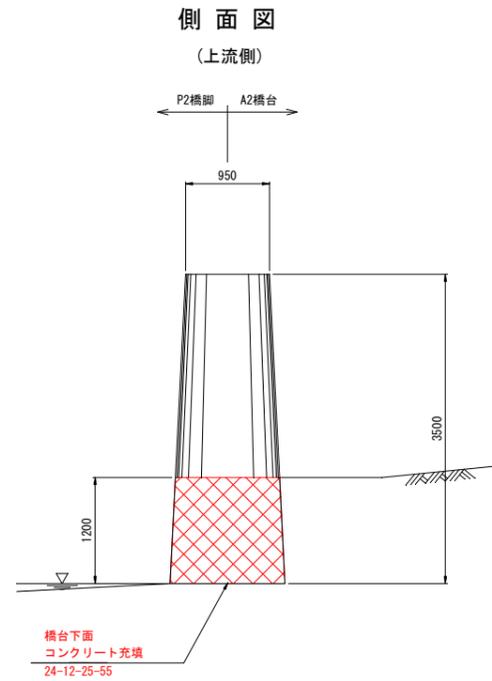
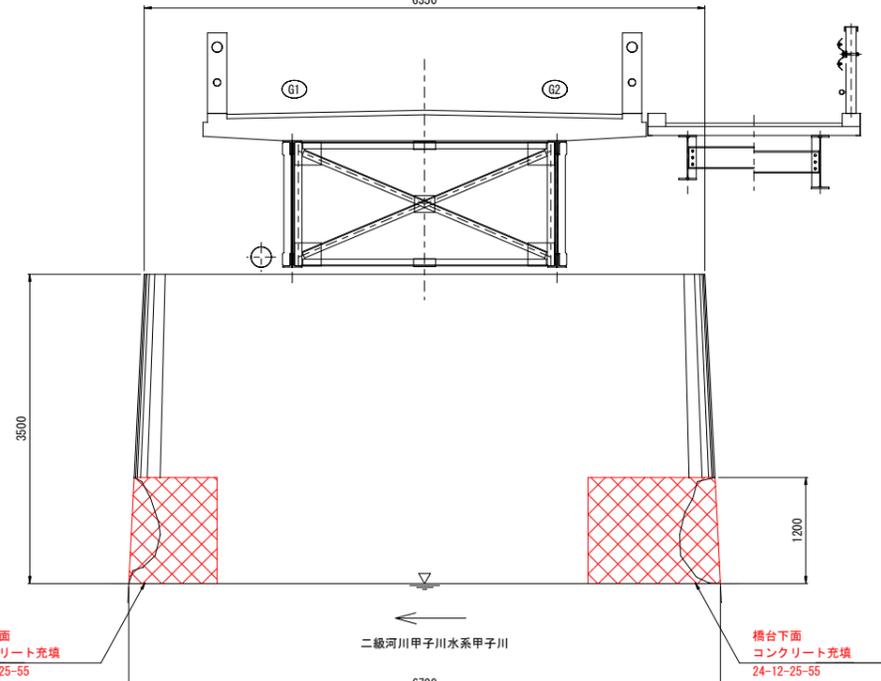
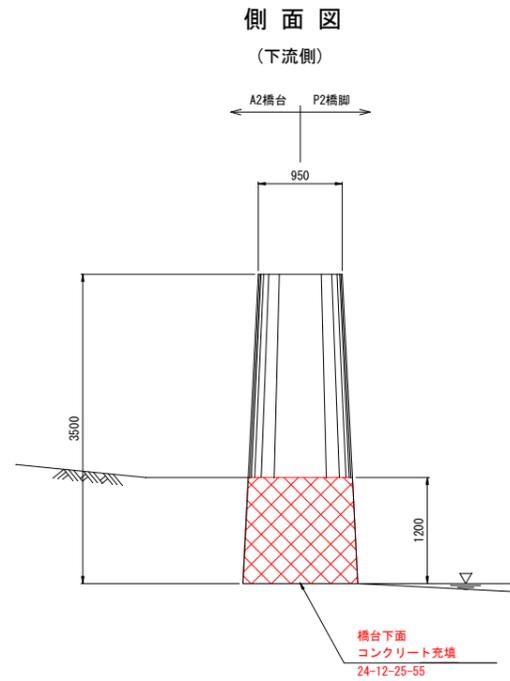
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 19	五葉橋（車道部） 下部工補修図その6
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

# 五葉橋（車道部） 下部工補修図（その7）

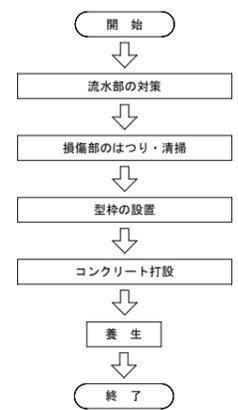
S=1:40

## コンクリート充填（P3橋脚）

正面図  
(P2橋脚側)



施工フロー



材料表

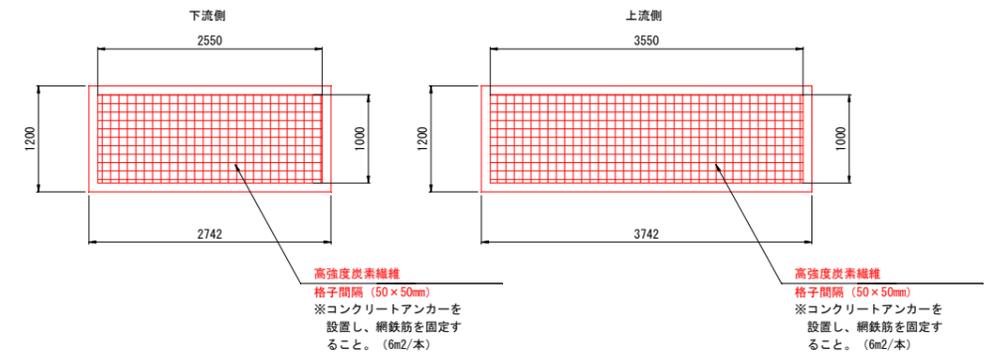
工程	仕様
充填工	コンクリート 24-12-25-55

鉄筋表

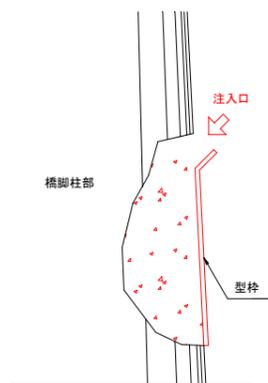
箇所	径	長さ	本数	単位重量 (kg/m)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
上流側	D13	520	9	0.995	0.52	5	
下流側	D13	320	9	0.995	0.32	3	
						D13	8 kg
全体鉄筋量						D13 (SD345)	8 kg
コンクリートアンカー						M12	44 本

ひび割れ防止鉄筋詳細図

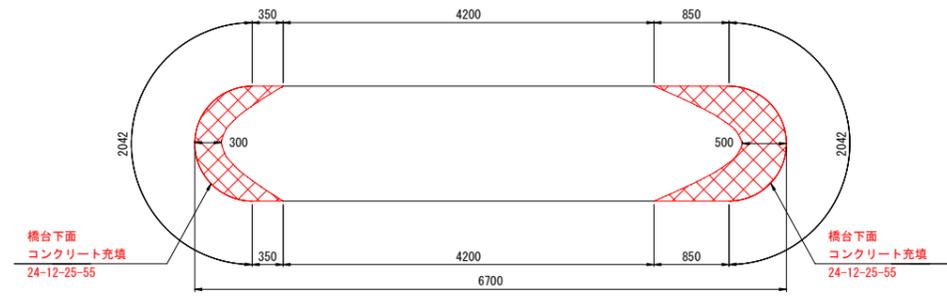
※コンクリートアンカーの設置位置は現場にて調整すること。



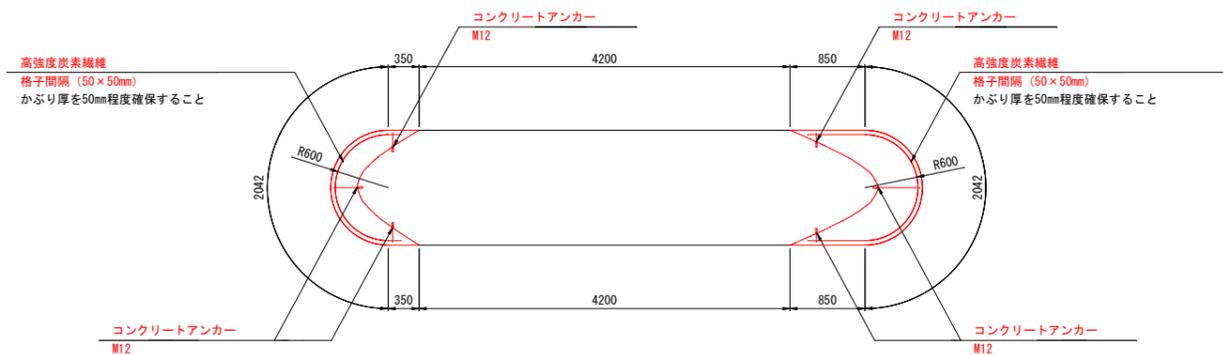
充填工概要図



平面図（コンクリート）

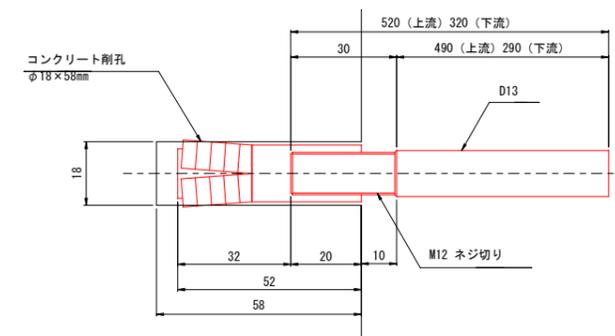


平面図（ひび割れ防止鉄筋）



コンクリートアンカー詳細図

S=1:1



注記

- 劣化部は除去後、清掃を行うこと。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

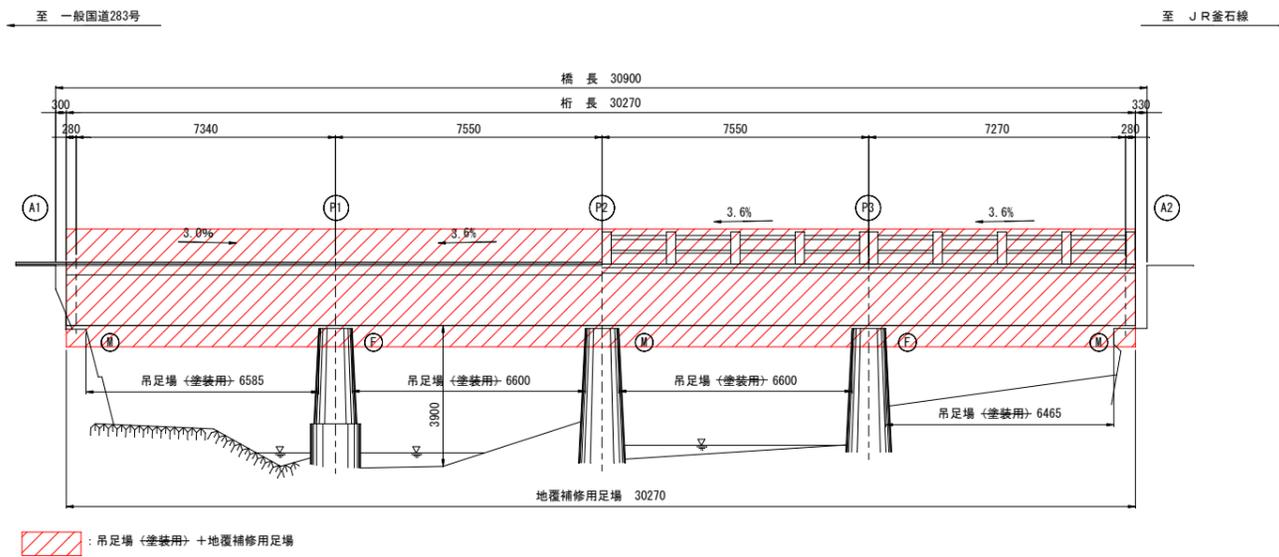
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 20	五葉橋（車道部） 下部工補修図その7
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

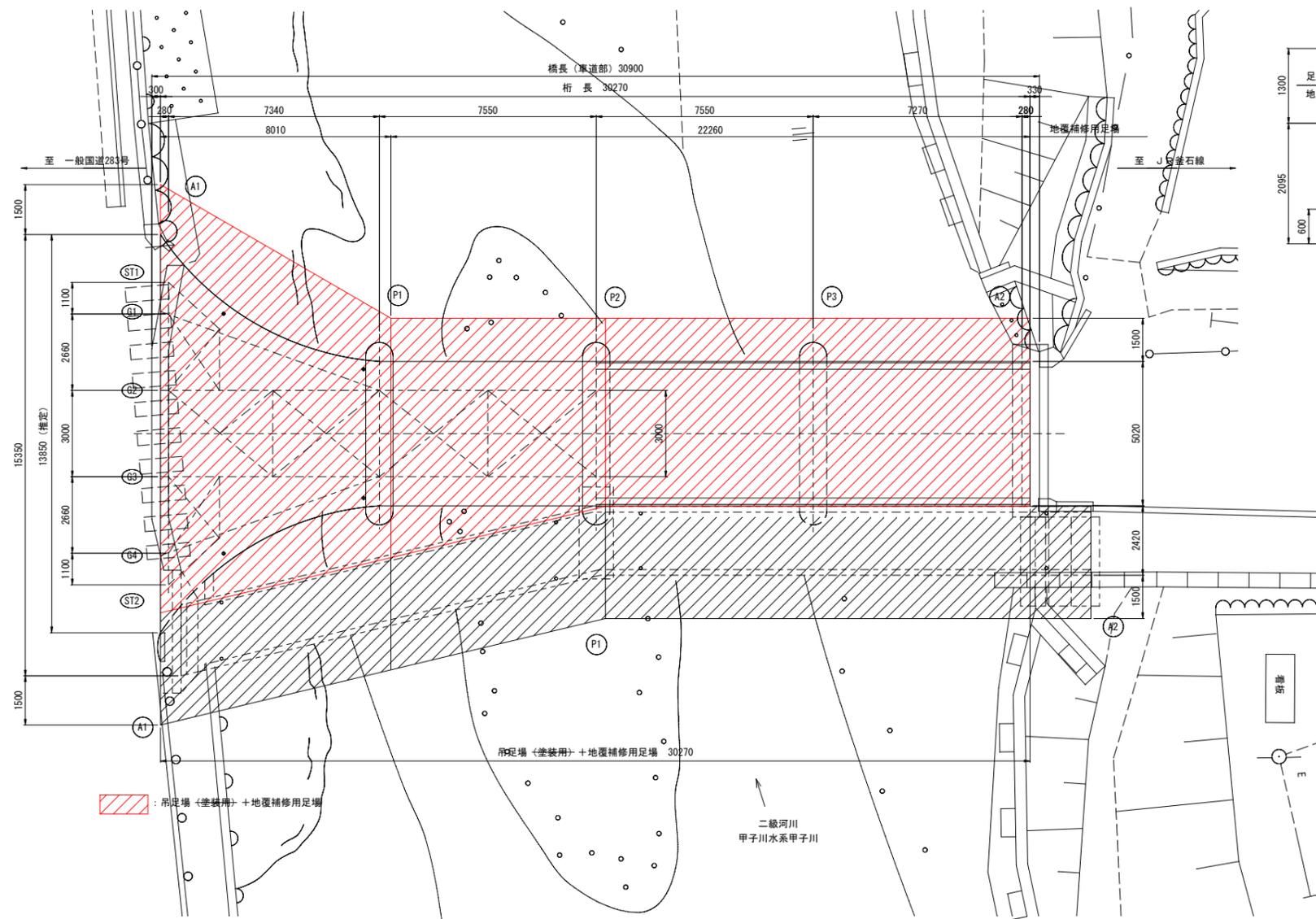


# 五葉橋（車道部） 施工計画図（案）（その1）

側面図 S=1:100

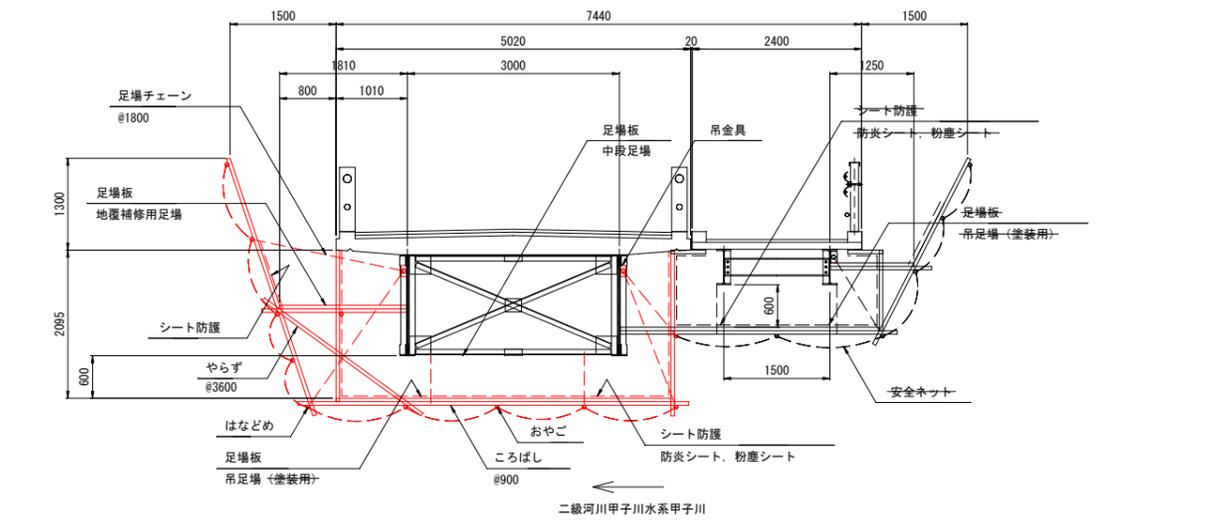


平面図 S=1:100

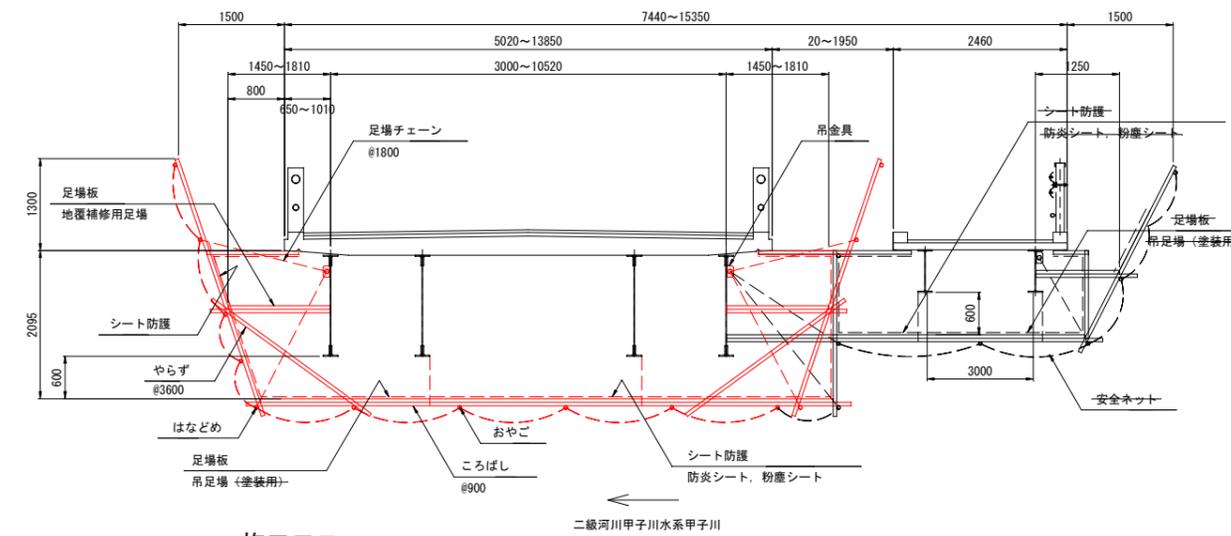


断面図 S=1:50

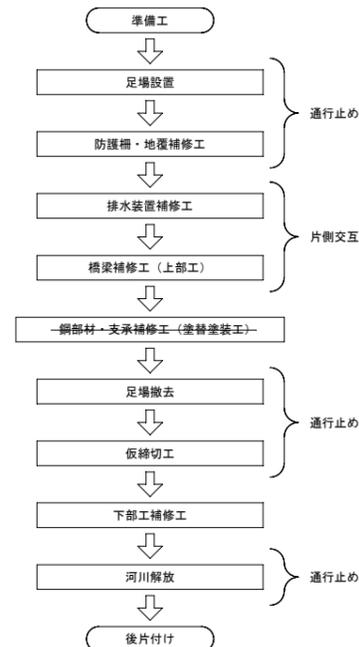
P1~A2



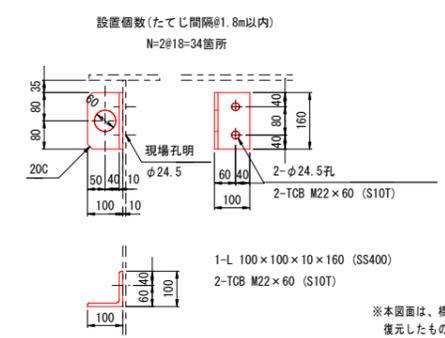
A1~P1



## 施工フロー



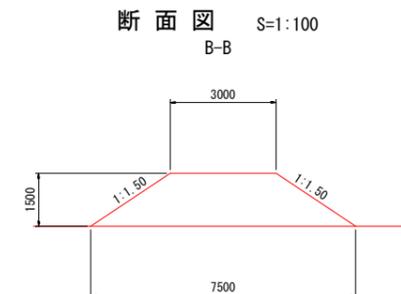
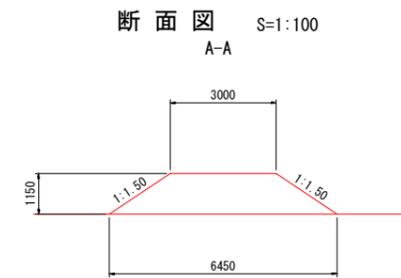
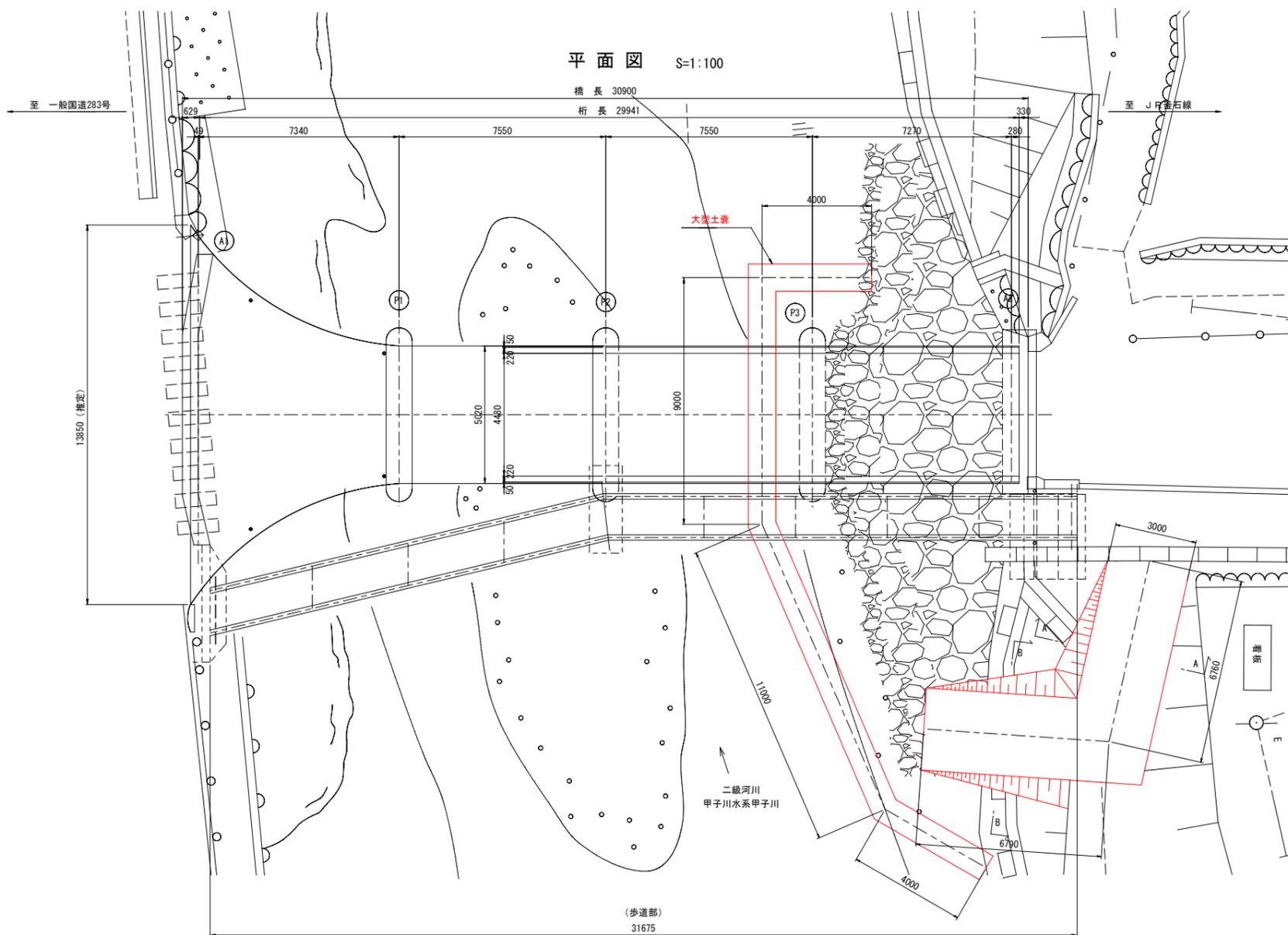
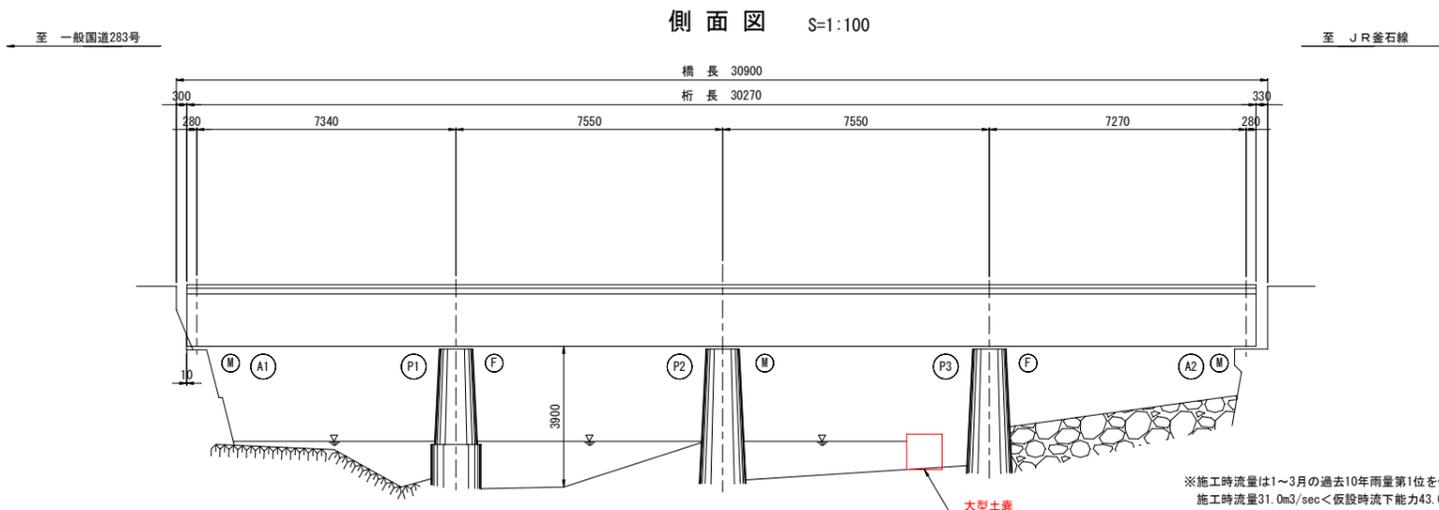
## 吊金具詳細図 S=1:10



この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 21	五葉橋（車道部） 施工要領図（案）その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

# 五葉橋（車道部） 施工計画図（案）（その2）



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 22	五葉橋（車道部） 施工要領図（案）その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。